



逆寝取られ

馬面ブス人妻

51P

馬面ブス人妻に



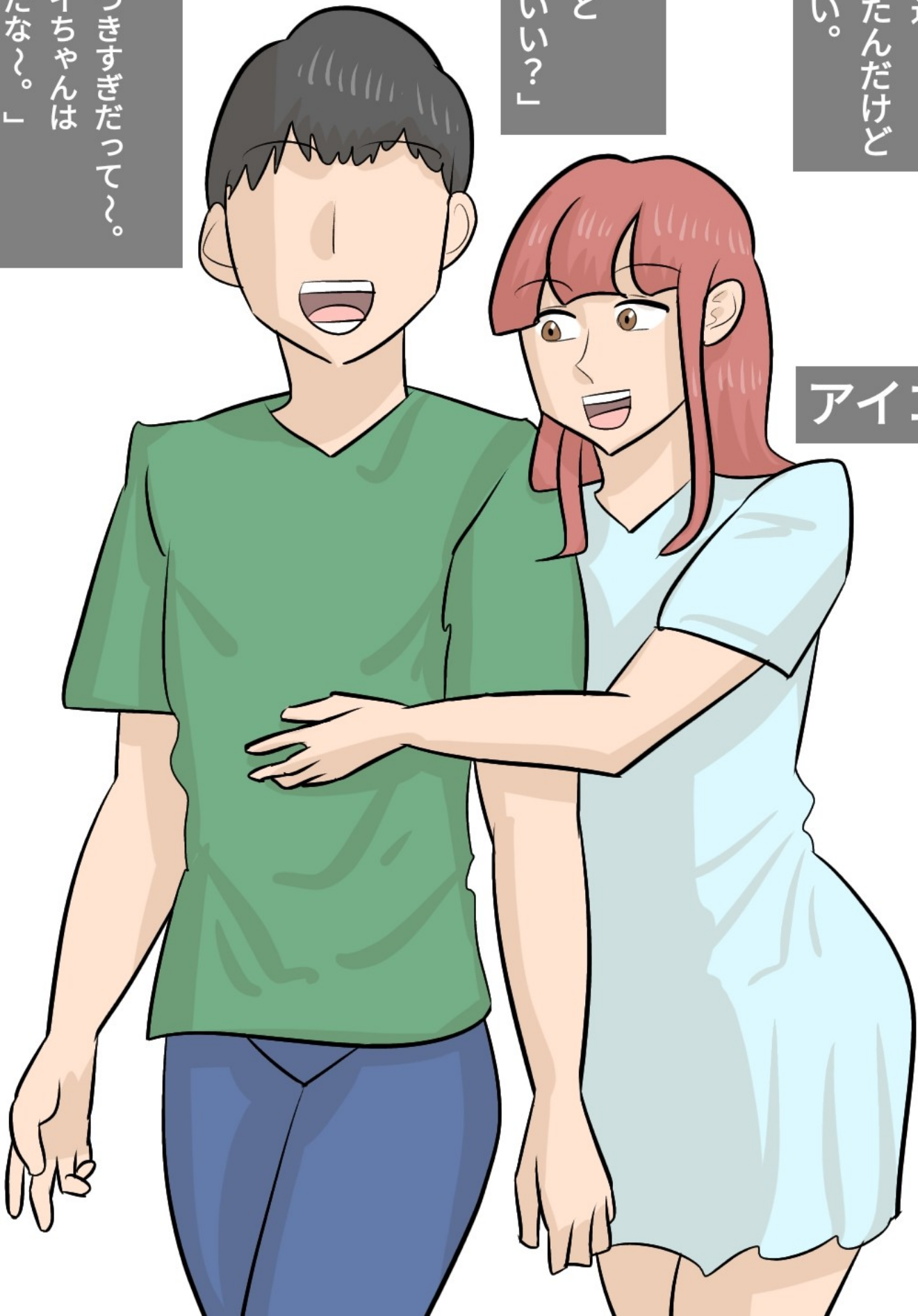
寝取られた彼氏

この子は僕の彼女。
僕たちは、最近
付き合い出したんだけど
すごく仲が良い。

彼女
「ねえ、もっと
くっついていい？」

彼氏
「え？くっつきすぎだつて〜。
もう、アイちゃんは
甘えん坊だな〜。」

アイコ

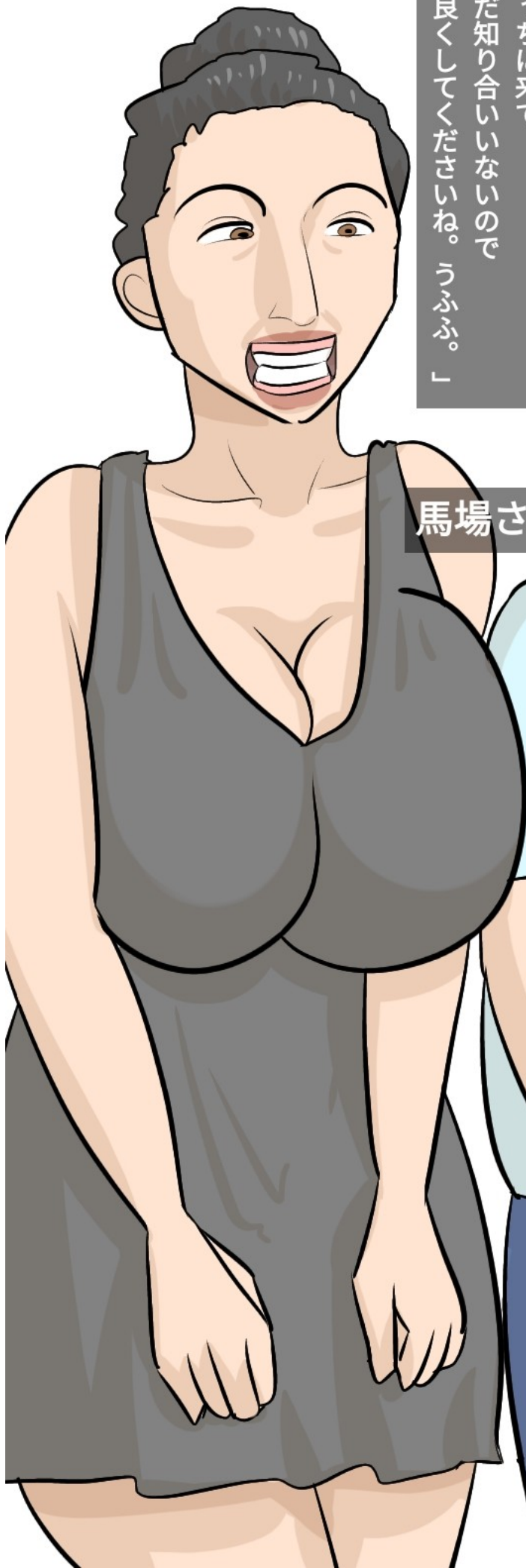


この人は最近、
近所に引っ越してきた家族。
夫婦二人らしい。
挨拶しに来てくれた。

夫
「またよろしく
お願いします。」

奥さん
「こっちに来て、
まだ知り合いないので
仲良くしてくださいね。うふふ。」

馬場さん



彼氏

「えっ…。なっ…。」

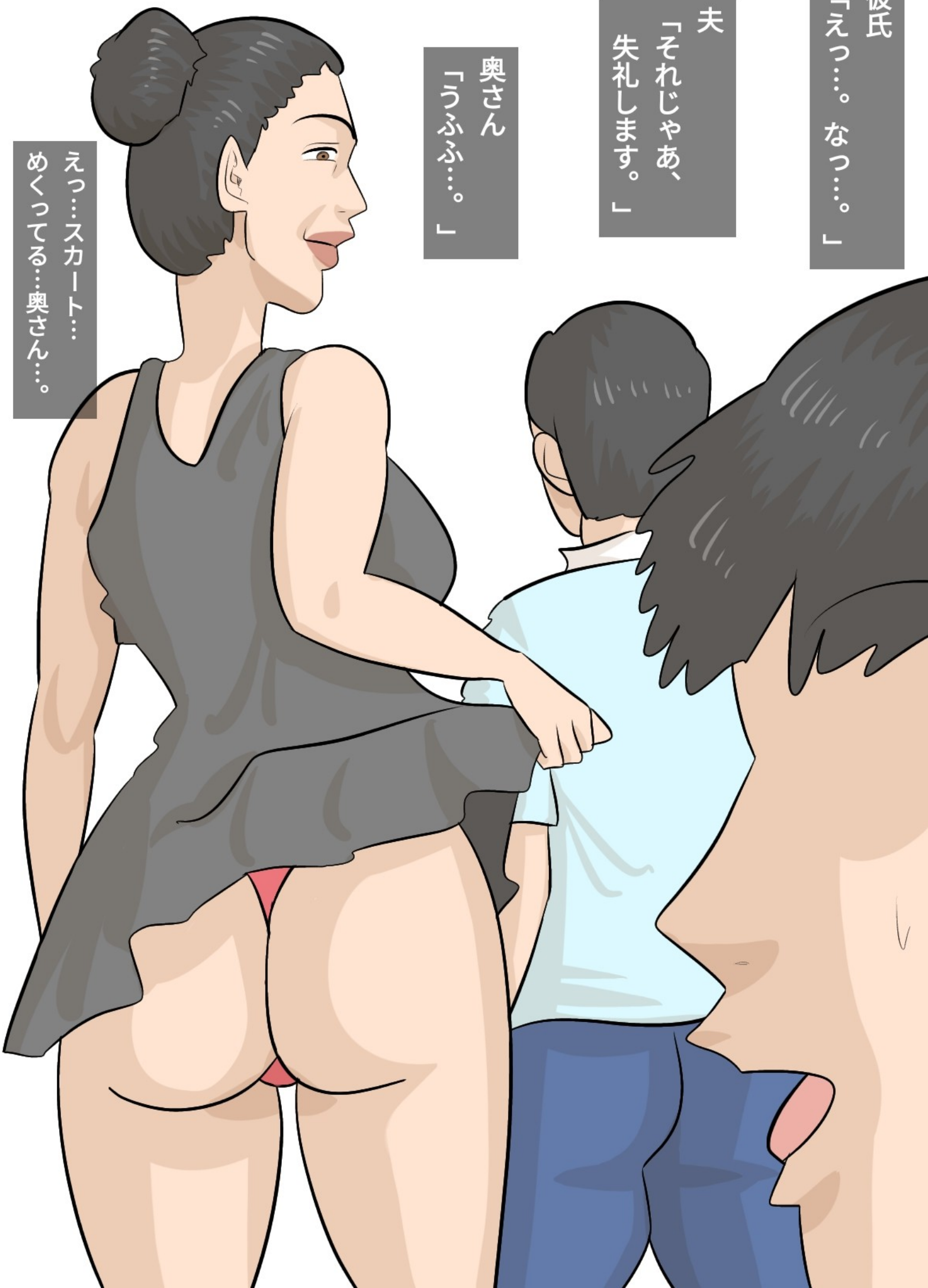
夫

「それじゃあ、失礼します。」

奥さん

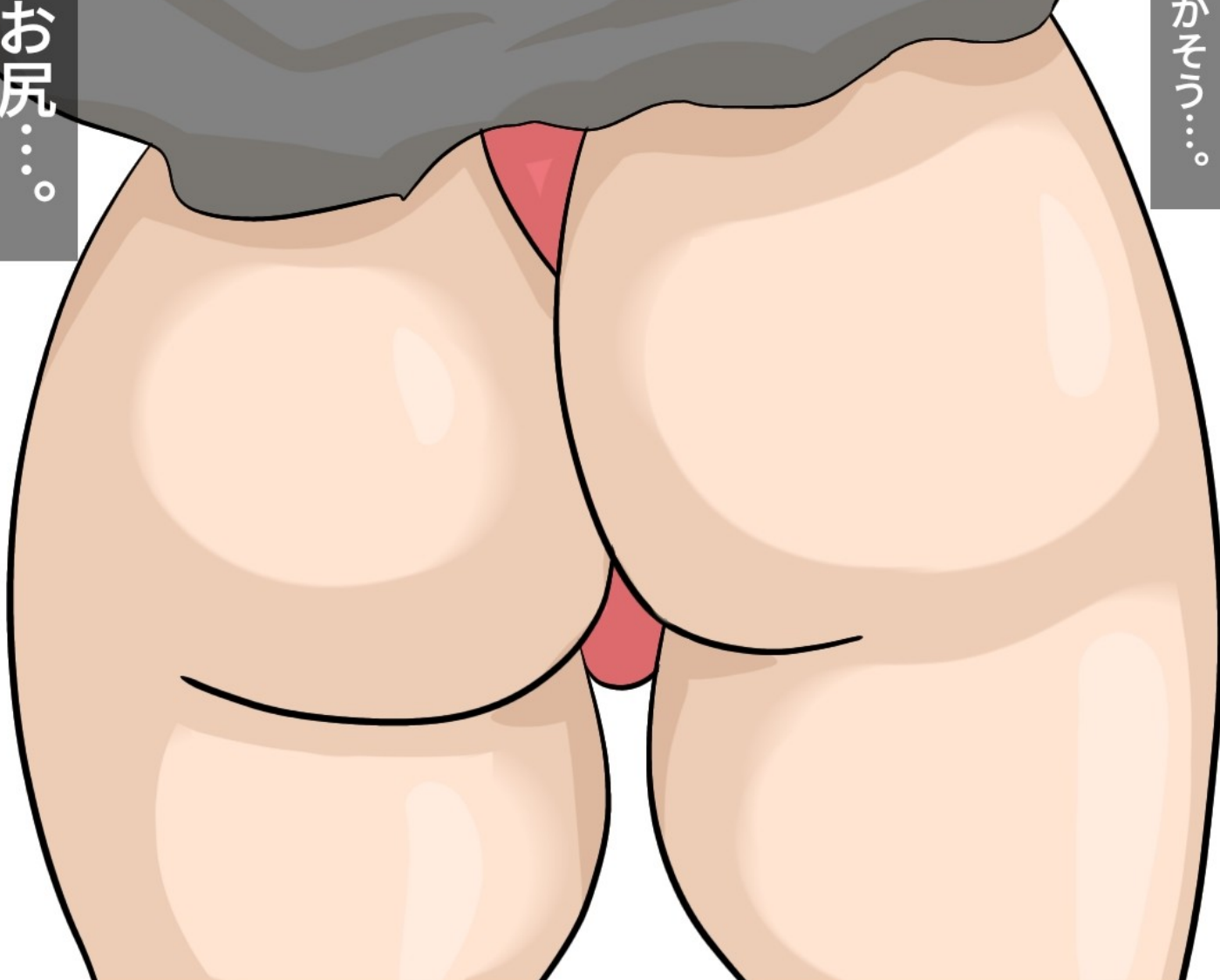
「うふふ…。」

えっ…スカート…めくってる…奥さん…。



すごい…プリケツ…。
デカくて…柔かそう…。

安産型のお尻…。



えっ…なんで…
お尻見せてきてんの…？
僕のこと…誘惑してる…？



別の日に
また奥さんに会った。
ゴミ出しの時だった。

彼氏

「あっ、おはようございます。」

奥さん

「うふふ。
おはようございます。」

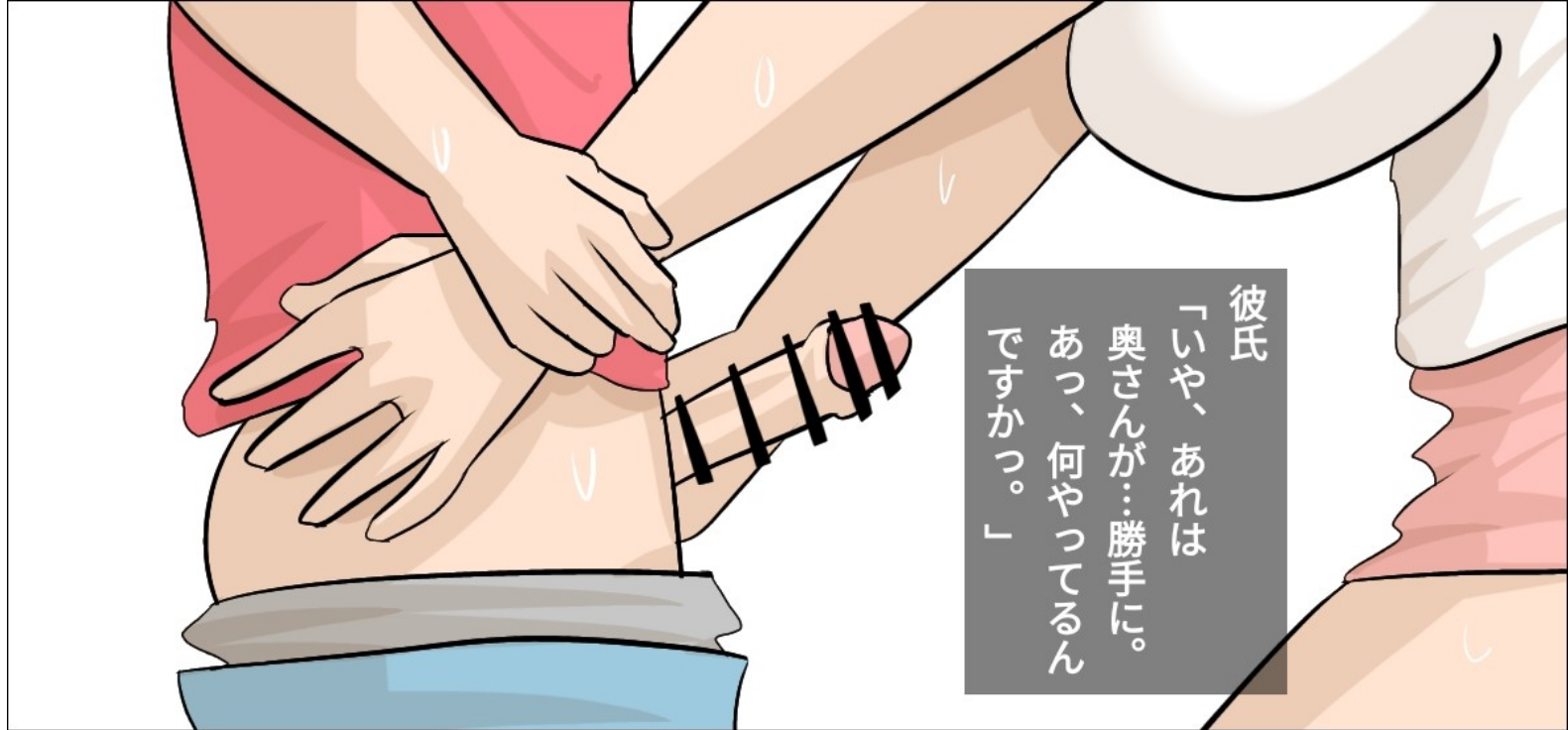


彼氏
「えっ?
なんですかっ?」

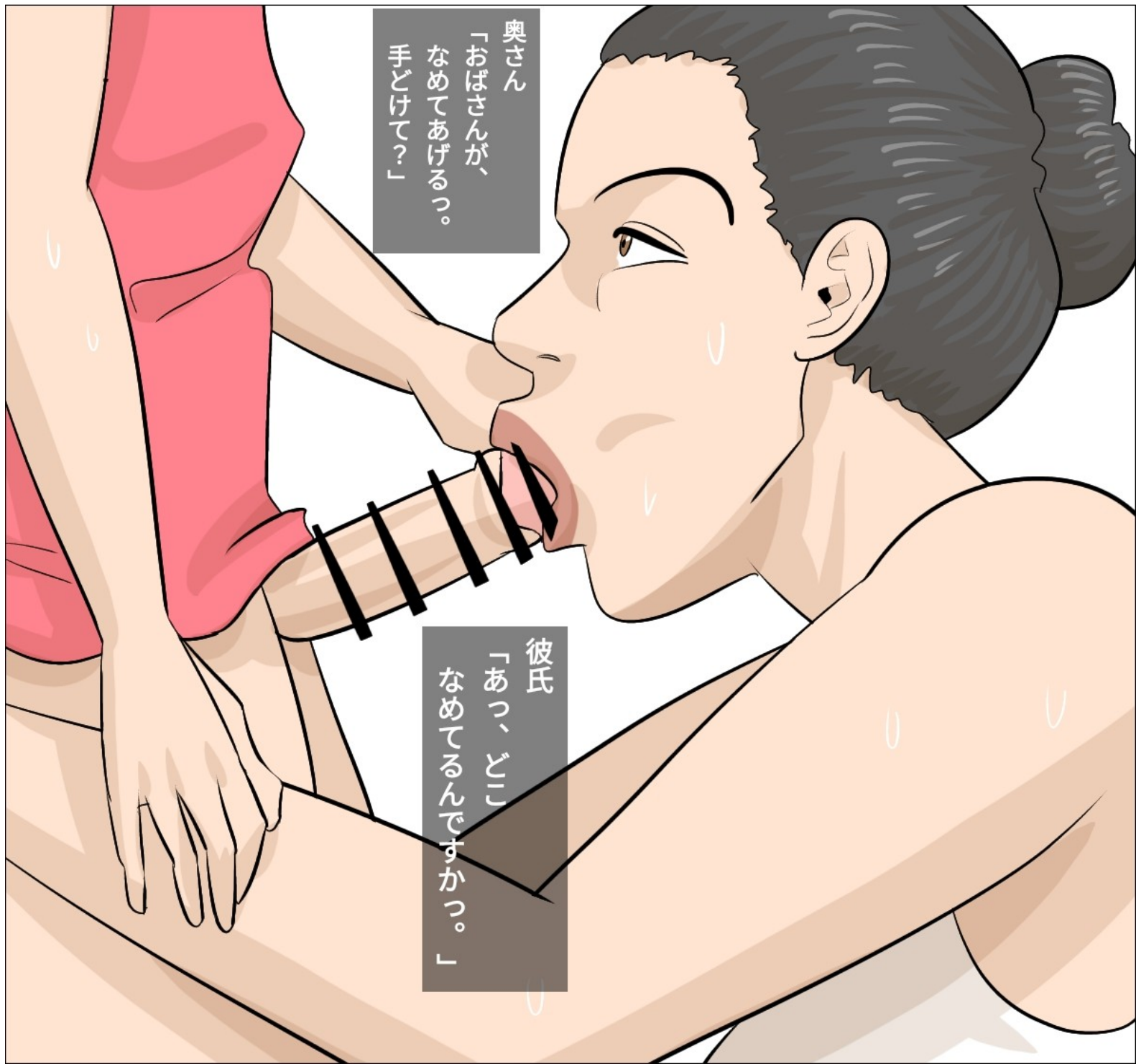
奥さん
「ねえ、彼氏くん、
この前、私のお尻
見てたよね?」

奥さん
「興奮した?うふふ。」





彼氏
「いや、あれは
奥さんが…勝手に。
あっ、何やってるん
ですかっ。」



奥さん
「お婆さんが、
なめてあげるっ。
手どけて?」

彼氏
「あっ、どご
なめてるんですかっ。」

彼女

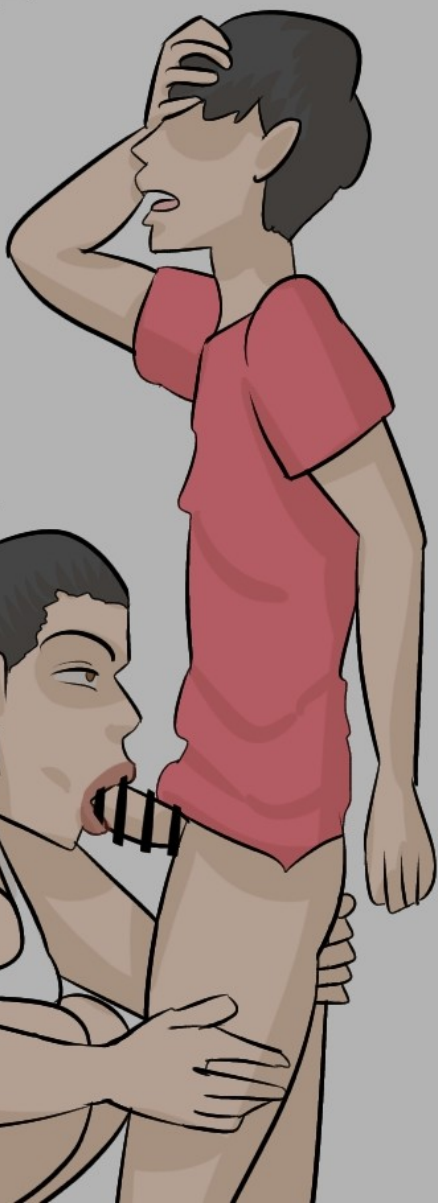
「んん、どこ行ったんだらう…。
ゴミ出しに行ってるから
戻ってこないんだよね。」

彼氏

「あつ、やめてっ。
奥さん、ダメですって。」

奥さん

「うふふ。大人しくしなさい。
お婆さんが気持ち良く
してあげるから。」



彼氏

「あゝ、ダメです…。
それ以上やったら…
出ちやいますって。」



彼氏

「あつ…」



奥さん

「あゝ、すごい。」

たくさん出たわね。

やっぱり若いから

チンポ、ビンビン。」



彼女

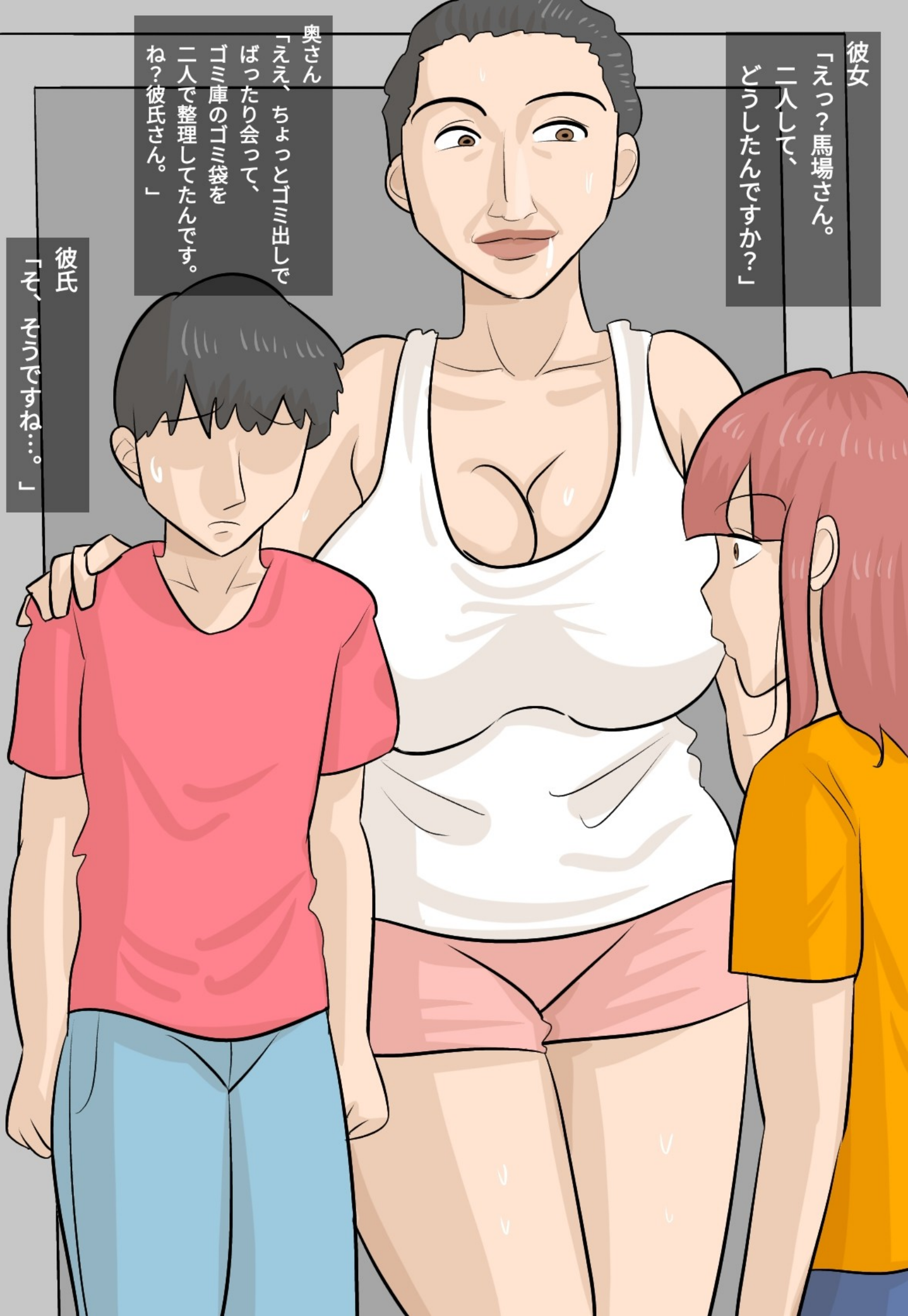
「えっ？馬場さん。
二人して、
どうしたんですか？」

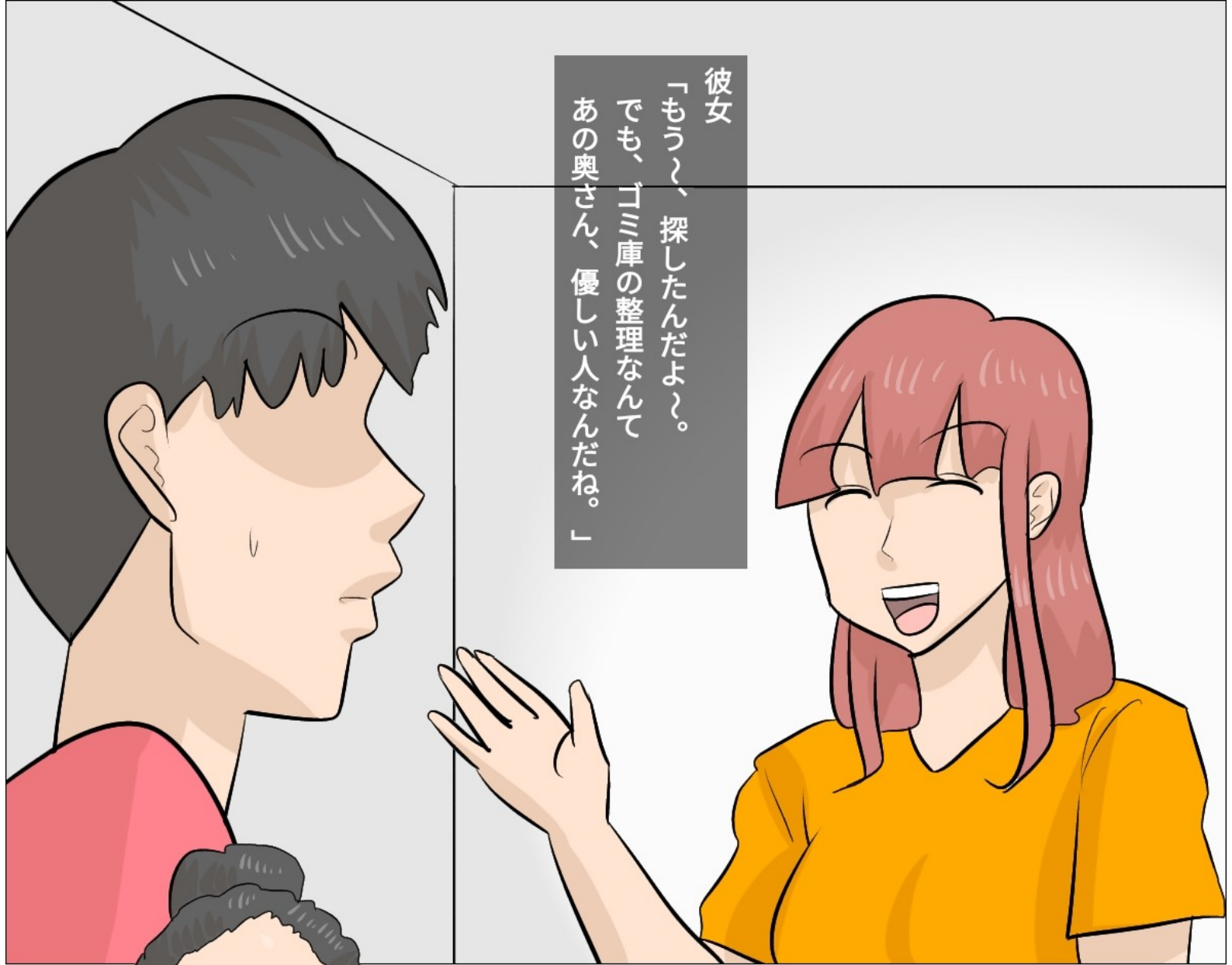
奥さん

「ええ、ちょっと「田」で
ばったり会って、
ゴミ庫のゴミ袋を
二人で整理してたんです。
ね？彼氏さん。」

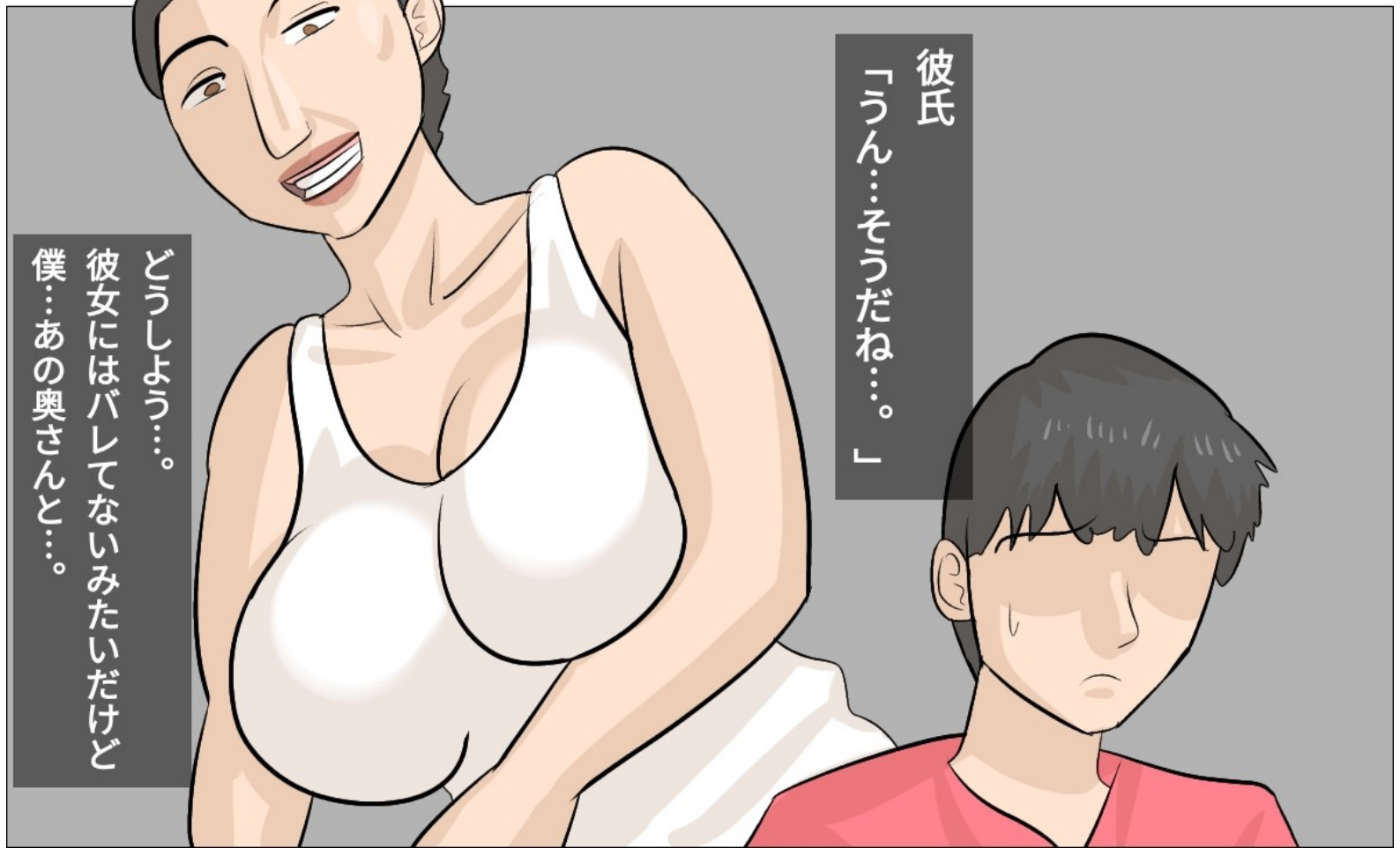
彼氏

「そ、そこのすな...。」





彼女
「もう、探したんだよ。
でも、ゴミ庫の整理なんて
あの奥さん、優しい人なんだね。」



彼氏
「うん…そうだね…。」

どうしよう…。
彼女にはバレてないみたいだけど
僕…あの奥さんと…。

あつ、またあの奥さんだ。

旦那さんも…。

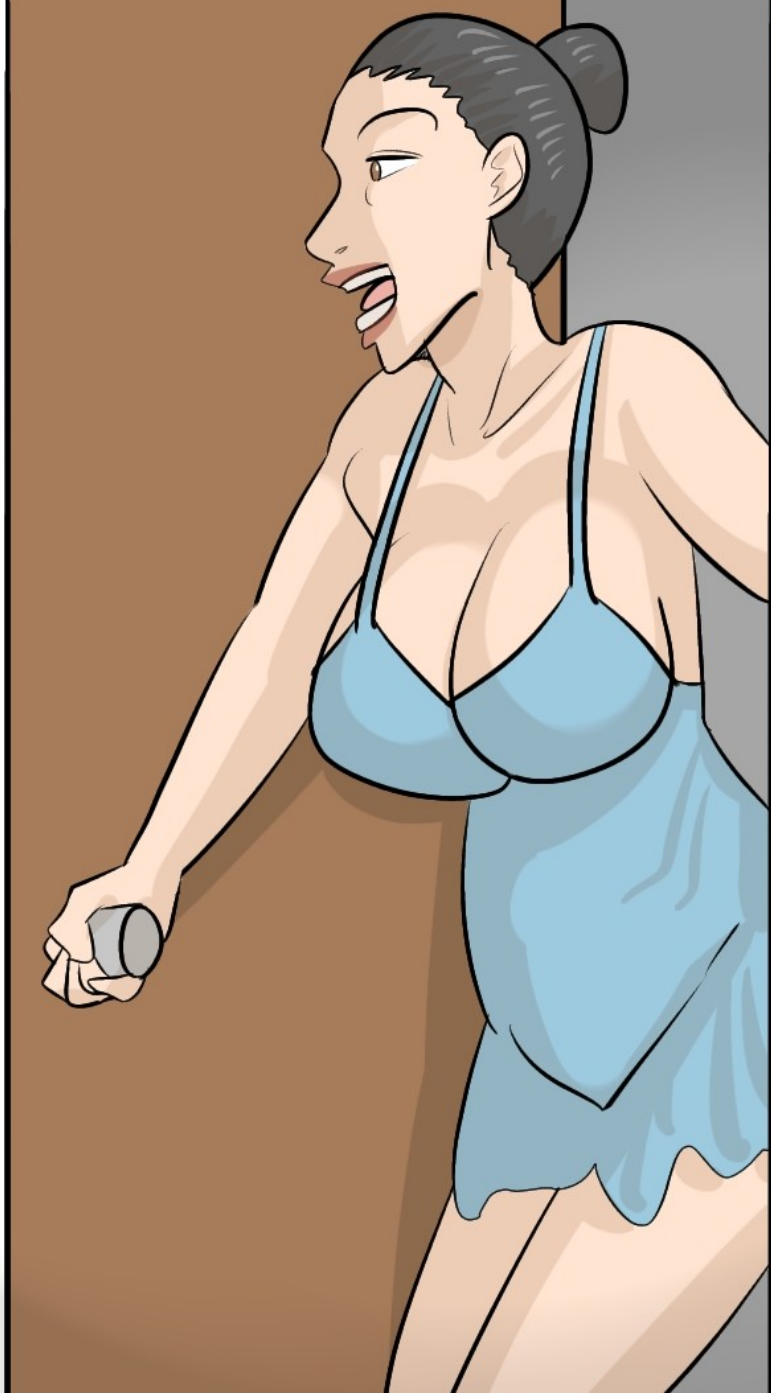
気づかれないようにしないと…。

奥さん

「さっしやいさーさー。」

夫

「うん、さっしやいさーさー。」





げっ、気づかれた…。

奥さん

「あら、おはよう。
また会っちゃったわね。」



彼氏

「あの…もう僕は
このあと予定があるので…」

奥さん

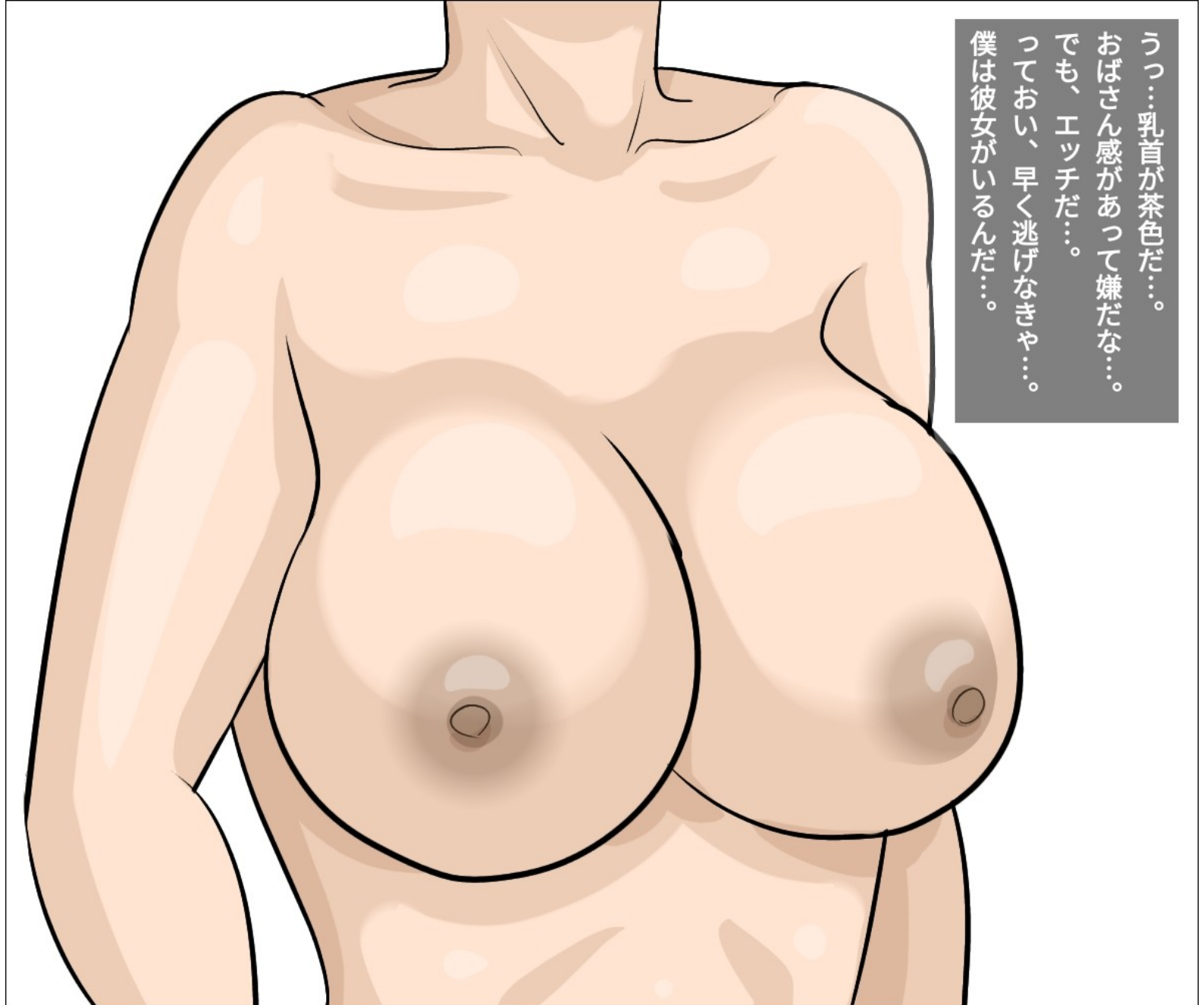
「ええっ、いいじゃない。
そんなに急がなくても。
お茶でもゆっくり飲みましょうよ。」

…………。
うっ…脱いでるし…。
どんだけビッチなの…この奥さん…。
でも、おっぱい…デカくてエロイな…。
旦那さんもいるのに…。

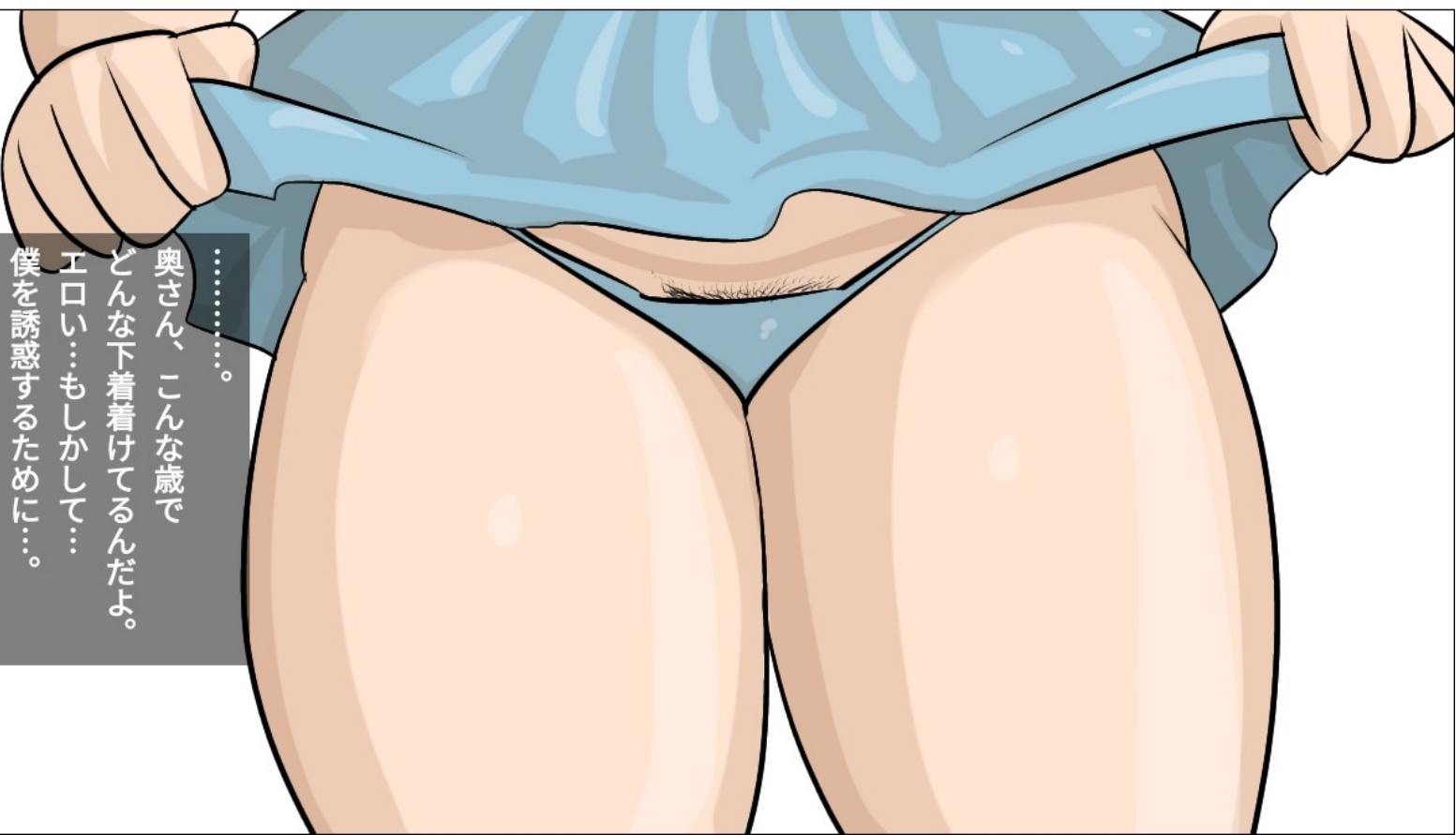
奥さん

「ねえ、この前よりもいいこと
してあげようか？うふふ。」





うっ…乳首が茶色だ…。
おばさん感があって嫌だな…。
でも、エッチだ…。
っておい、早く逃げなきゃ…。
僕は彼女がいるんだ…。



……。
奥さん、こんな歳で
どんな下着着けてるんだよ。
エロい…もしかして…
僕を誘惑するために…。



奥さん
「大丈夫。任せて？」

彼氏
「あっ…ちょっと…」

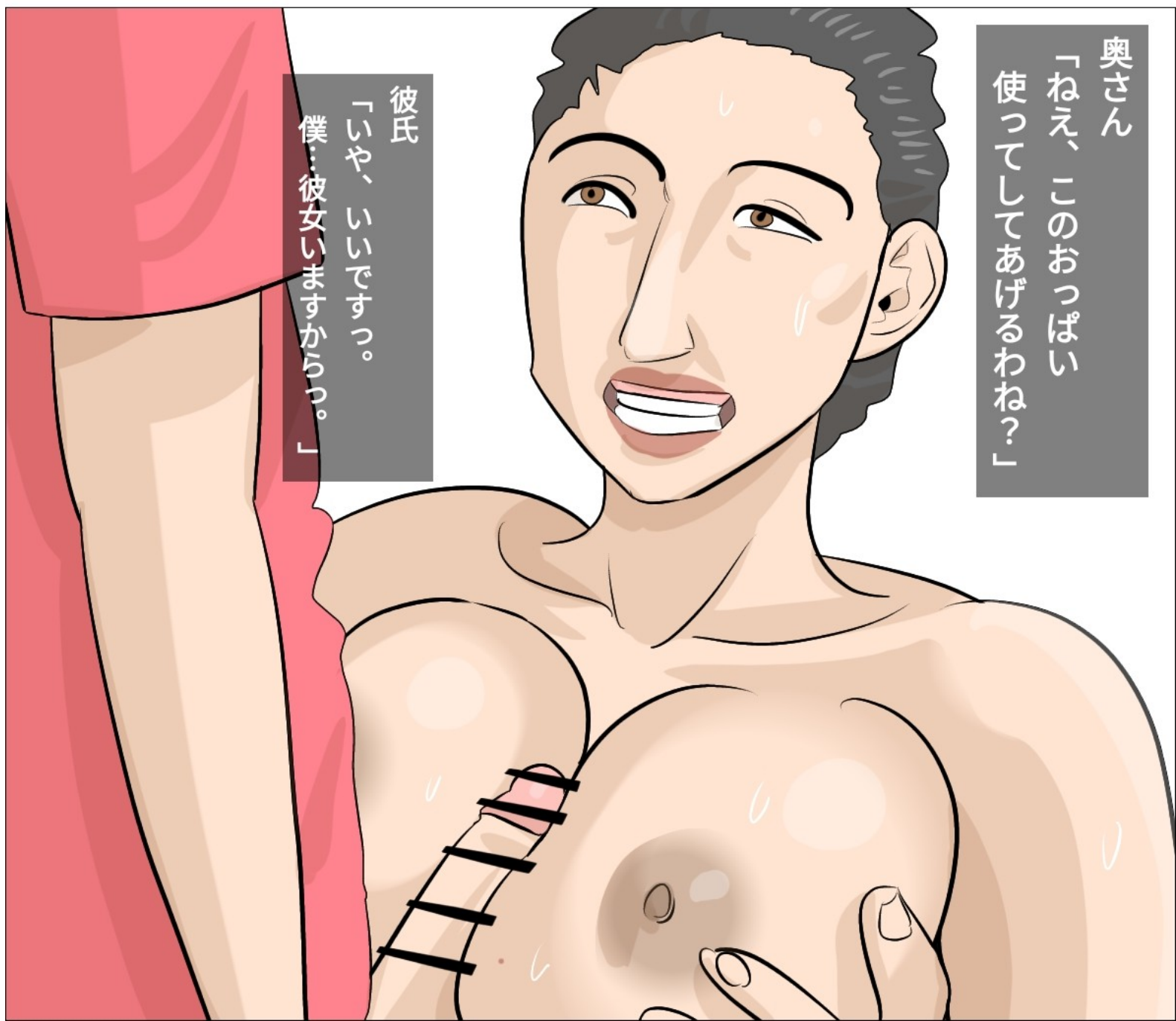


奥さん
「うふふ。可愛いキスね。
そうそう。舌出して？」

だっ…ダメだ…早く…
離れないと…。



……またしちゃった……。
奥さんとキスも……。



奥さん
「ねえ、このおっぱい
使ってしてあげるわね？」

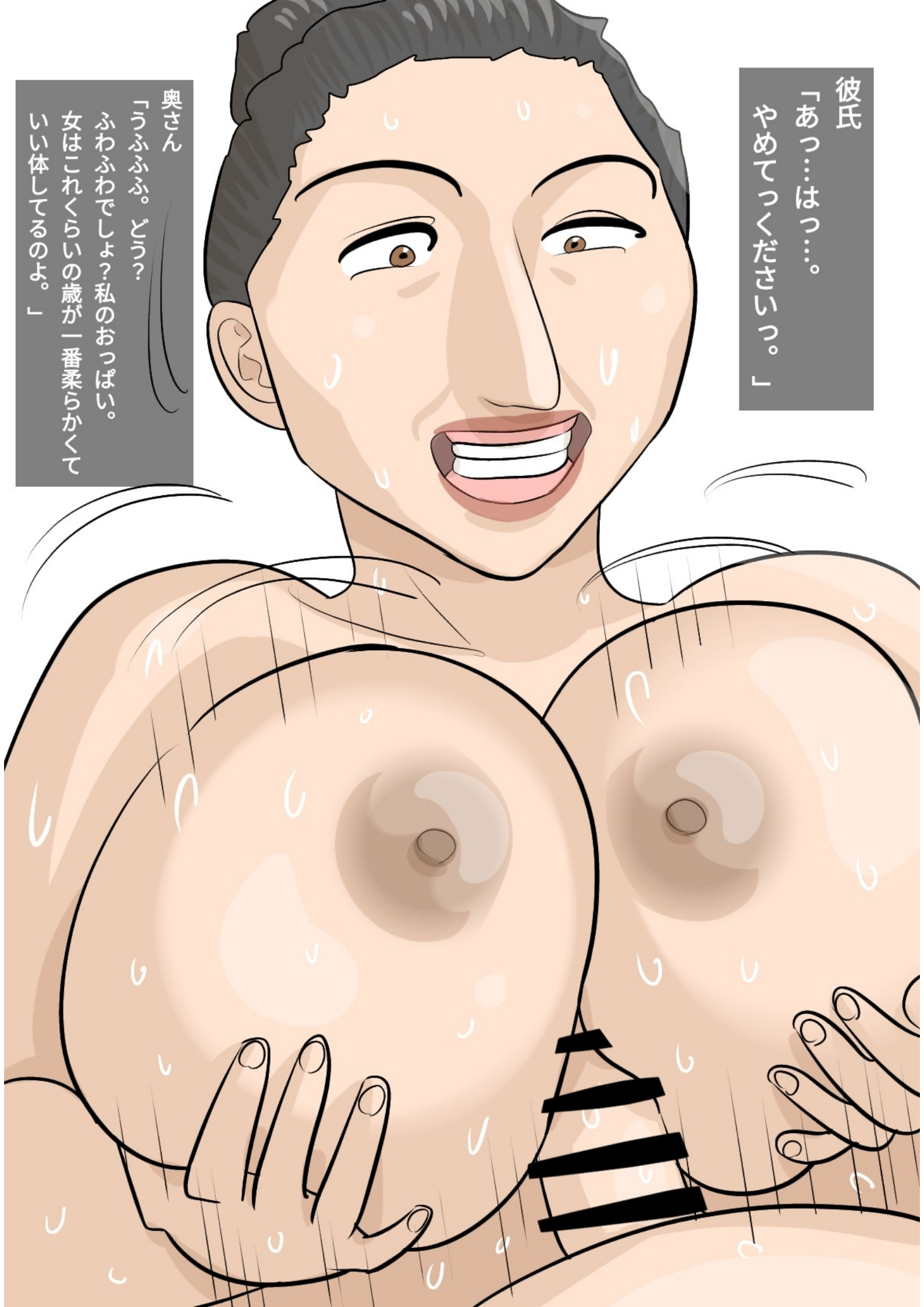
彼氏
「いや、いごですわい。
僕…彼女いますからわい。」

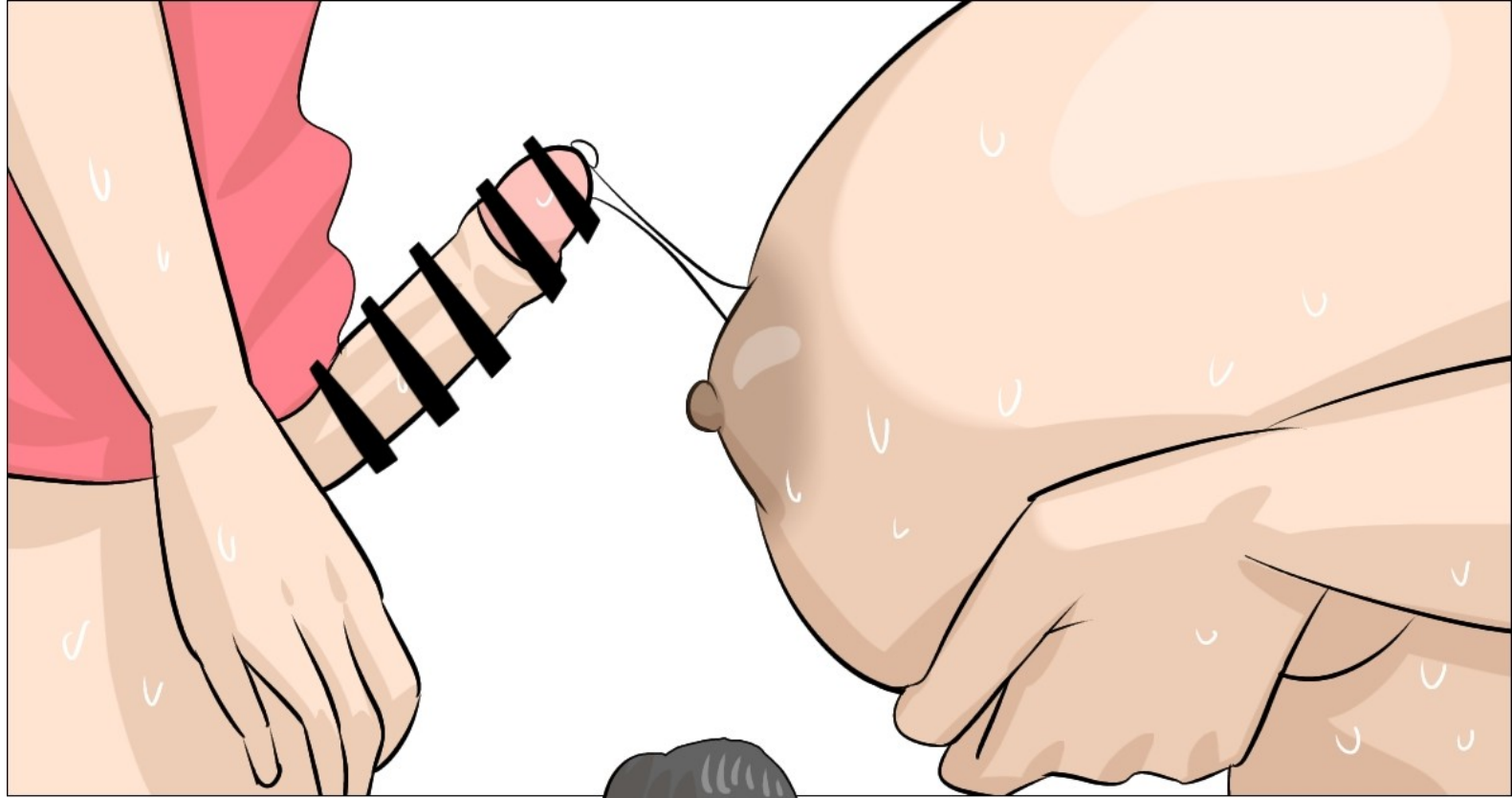
彼氏

「あっ…はっ…。
やめてっくださいっ。」

奥さん

「うふふふ。どうっ？
ふわふわでしょ？私のおっぱい。
女はこれくらいの歳が一番柔らかくて
いい体してるのよ。」

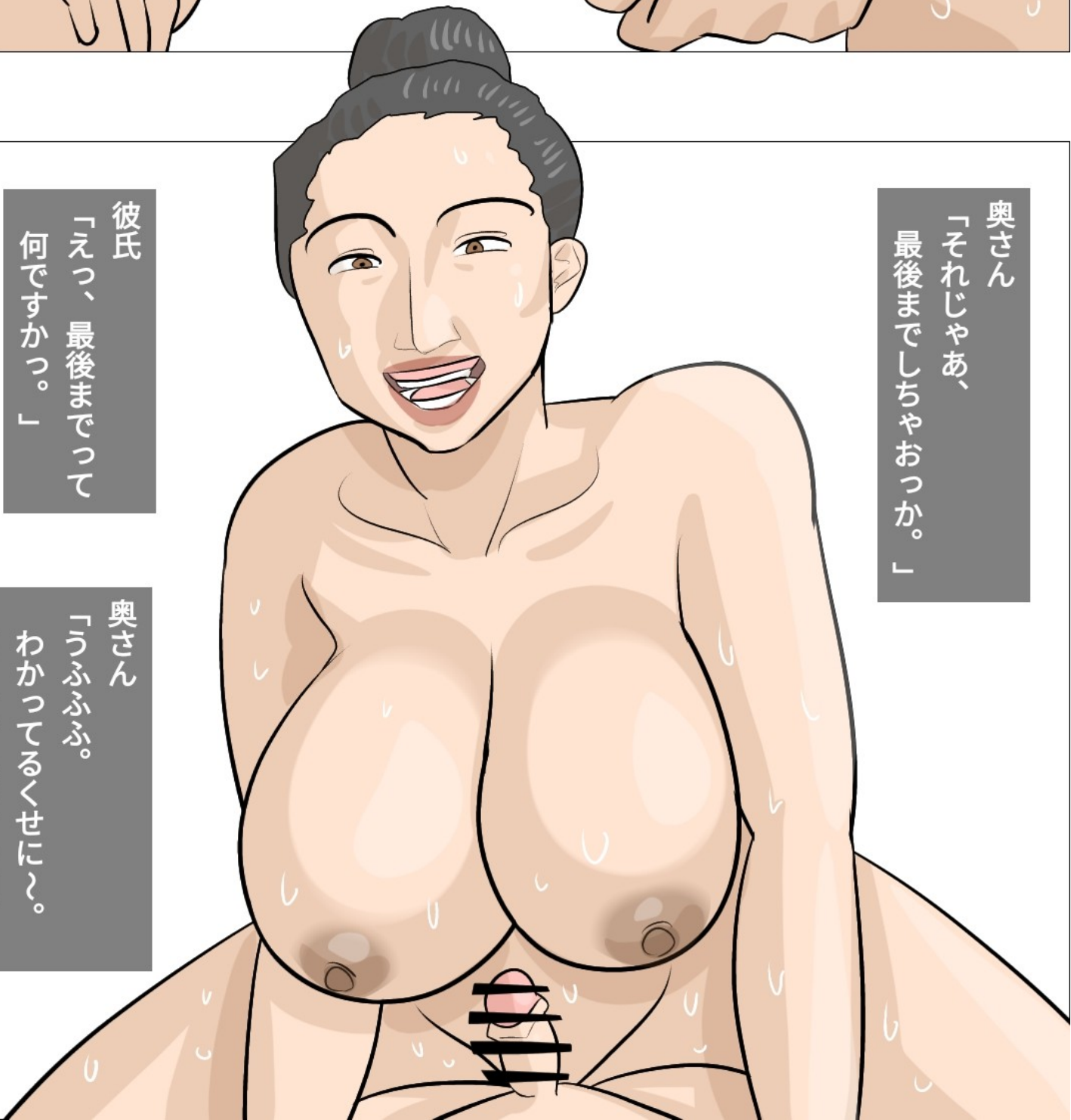


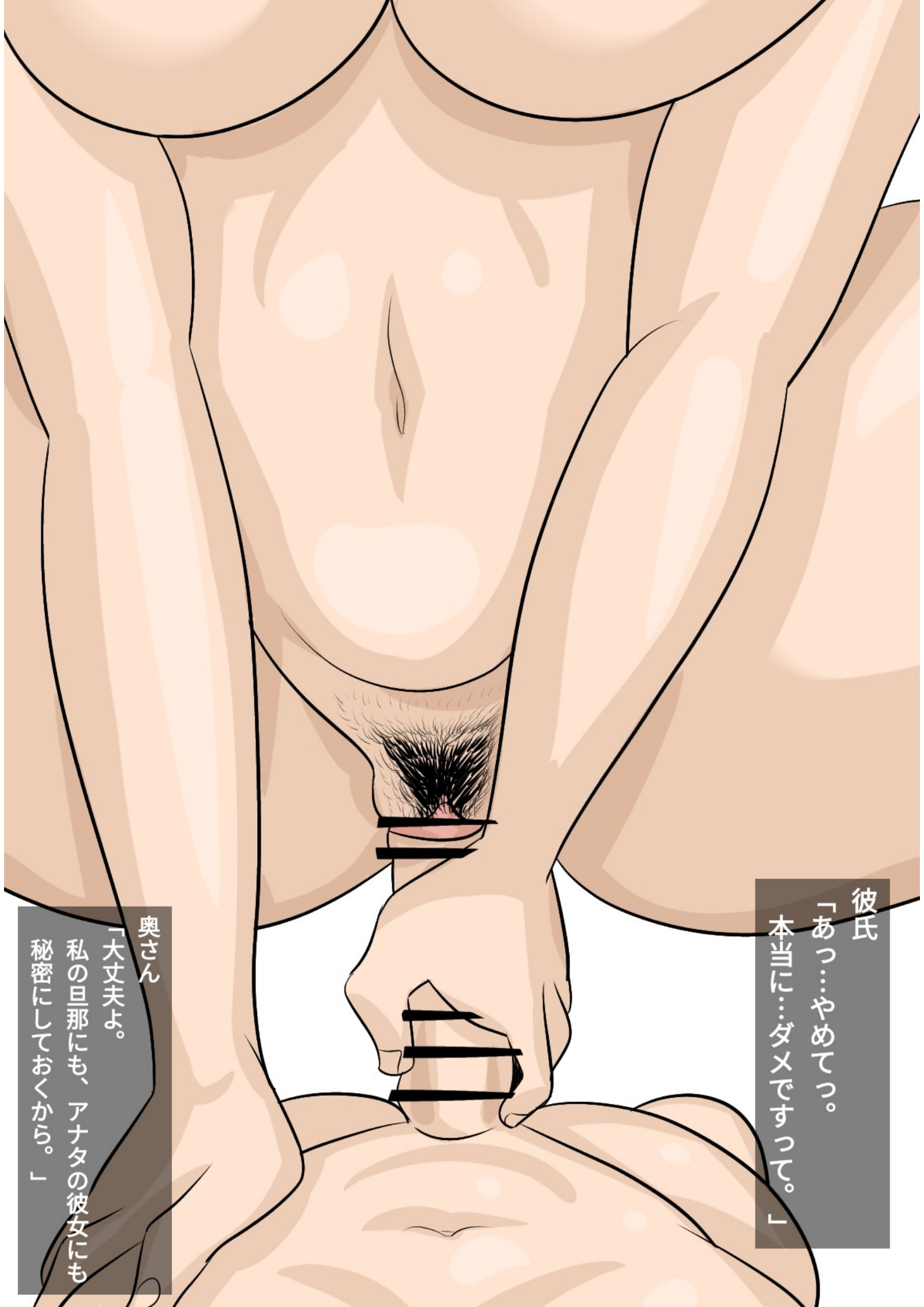


奥さん
「それじゃあ、
最後までしちゃおっか。」

彼氏
「えっ、最後までって
何ですかっ。」

奥さん
「うふふふ。
わかってるくせに。
どうせ、私のマンコ、
期待してるんでしょ？」





彼氏

「あっ……やめてっ。
本当に…ダメですって。」

奥さん

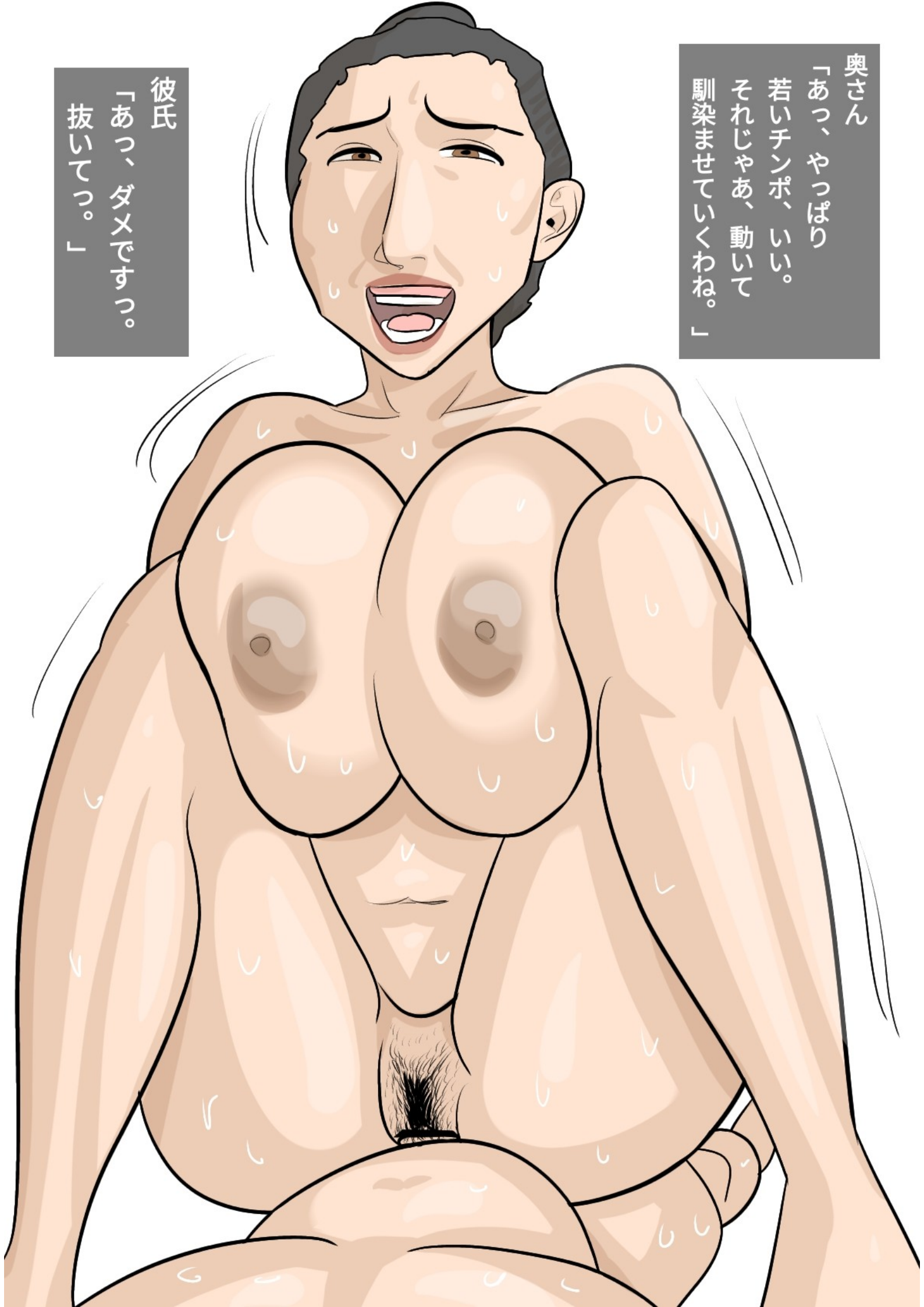
「大丈夫よ。
私の旦那にも、アナタの彼女にも
秘密にしておくから。」

奥さん

「あっ、やっぱり
若いチンポ、いい。
それじゃあ、動いて
馴染ませていくわね。」

彼氏

「あっ、ダメですっ。
抜いてっ。」



奥さん

「あんっ、あんっ。

うふふふ。彼女のセックスとどっちが気持ちいい？」

奥さん

「うちの旦那、優しいけど、セックスしてくれないのよ。だから、アナタのチンポでセックスできてうれしいわ。」





奥さん
「ほらほら、おちちを2回挿入して、
気持ちいいでしょっ。」

彼氏
「いや、気持ち良くなんか…
ていうか、早く抜いてくださいっ。」



奥さん

「あんっ。やだっ。

潮、吹いちゃった。

ごめんね。旦那とセックスレスで
久しぶりだったから。」

奥さん

「うふふ。あなたのチンポが

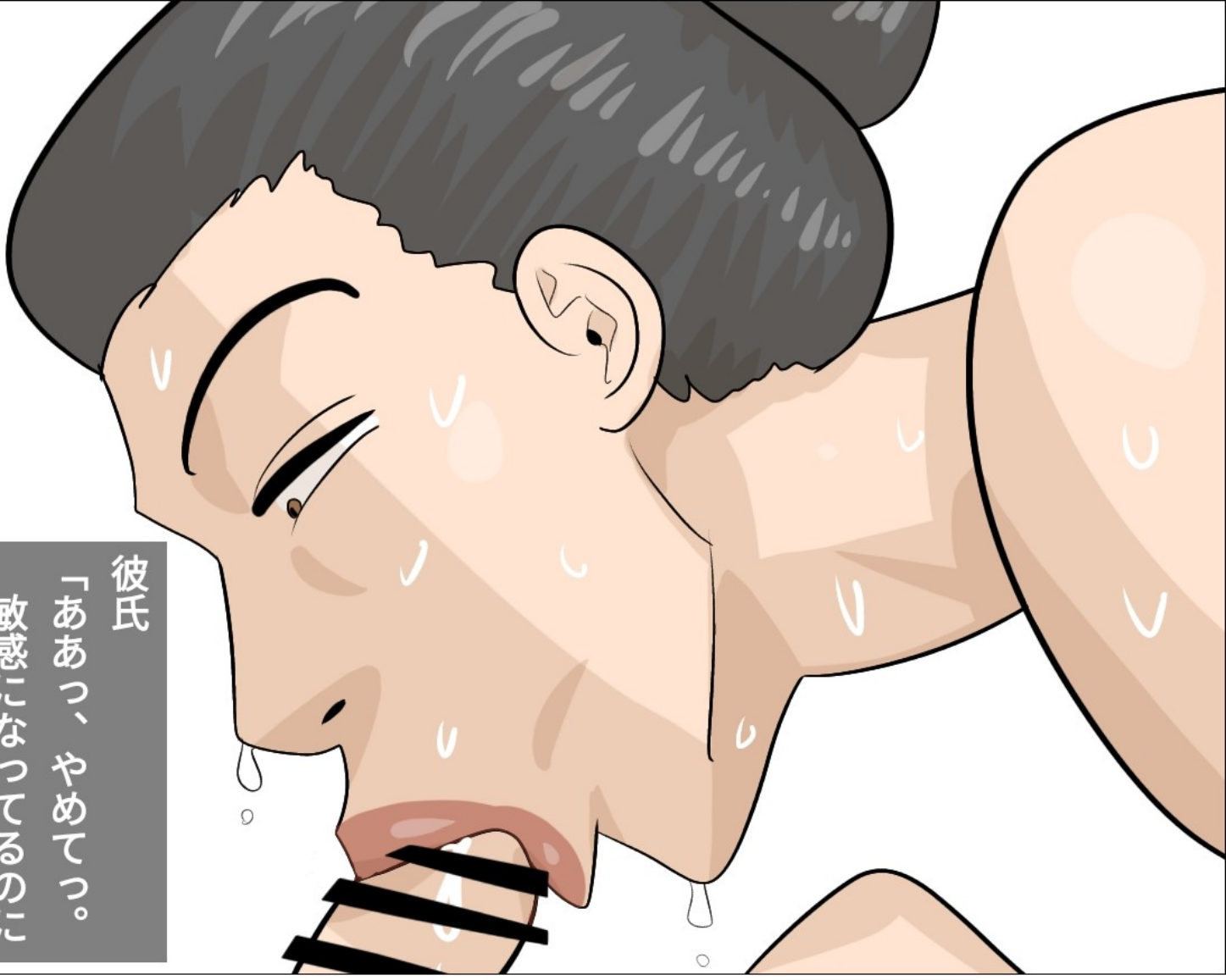
すごくいいってのも、あるわね。

ハマっちゃいそう笑

こんなチンポと出会えたの、

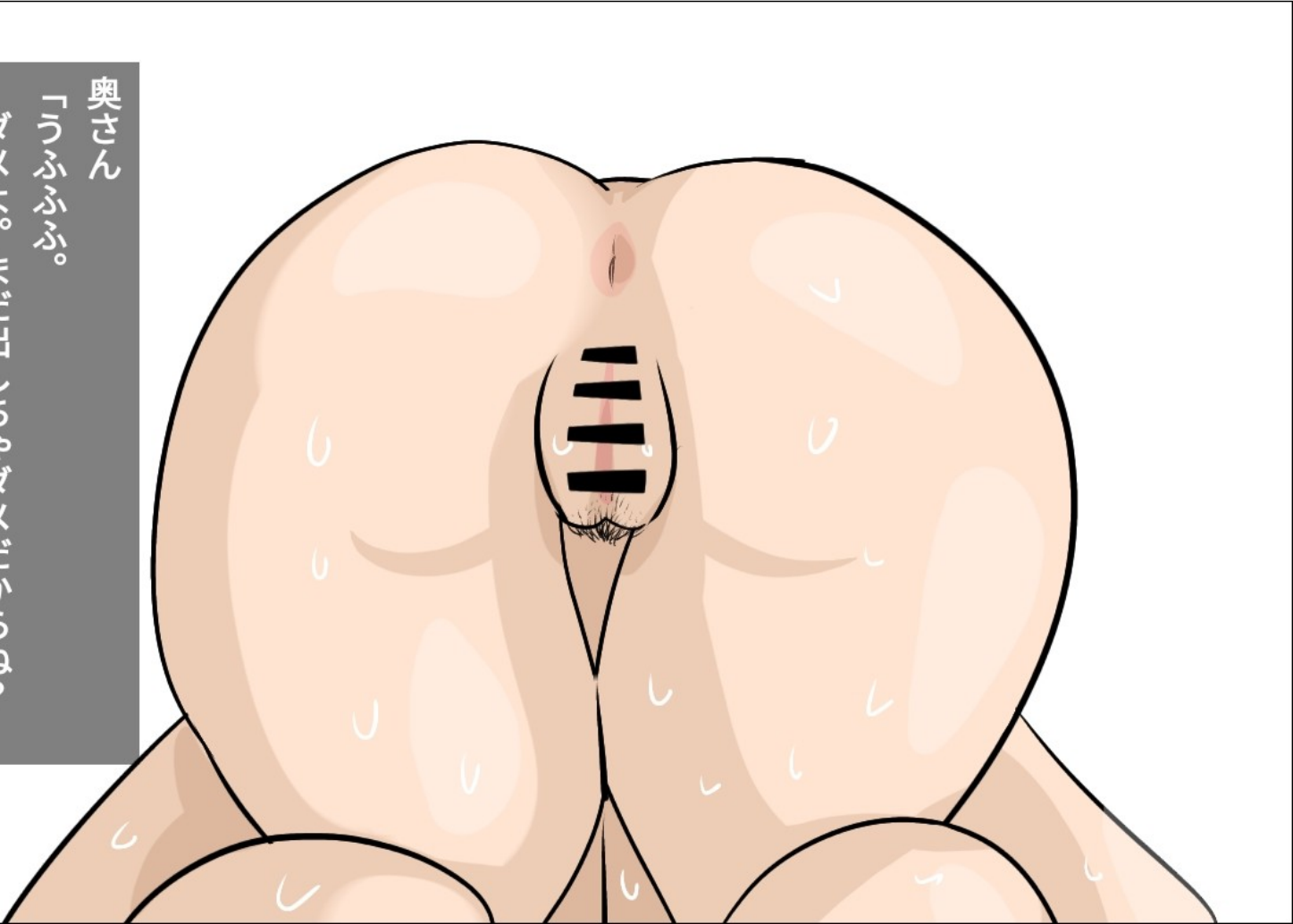
ラッキーだわ。」





彼氏

「ああっ、やめてっ。
敏感になってるのに
なめないでっ。」



奥さん

「うふふふ。
ダメよ。まだ出しちゃダメだからね？
私のマンコの中で、出すんだからね？」

奥さん

「ほら、おっぱい触りながら
出しているのよ？
出して？おばさんのマンコだ。
ほら、出してっ..」

彼氏

「いや、さすがにダメですって。
もう出ちゃいますって。
抜かないとっ。
はやくっ、どいてくださいっ。」

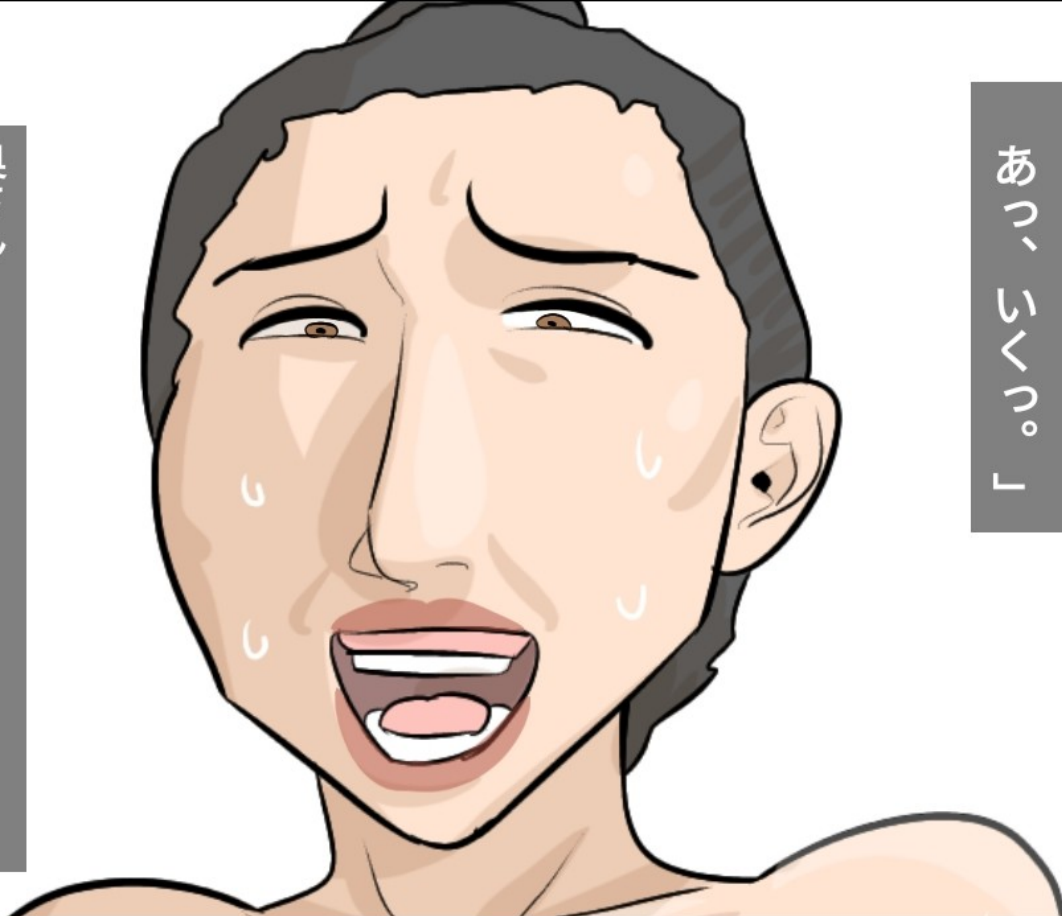


彼氏

「あつ、だめつ。
あつ、いくつ。」

奥さん

「あつ、たくさん出てるっ。
彼氏くんの温かい精子、出てるっ。」



奥さん

「ああ、すこ。抜いたら、
すごい精子出てきたよっ。うふふふ。
おばさん、妊娠しちゃうかもね。」



彼女

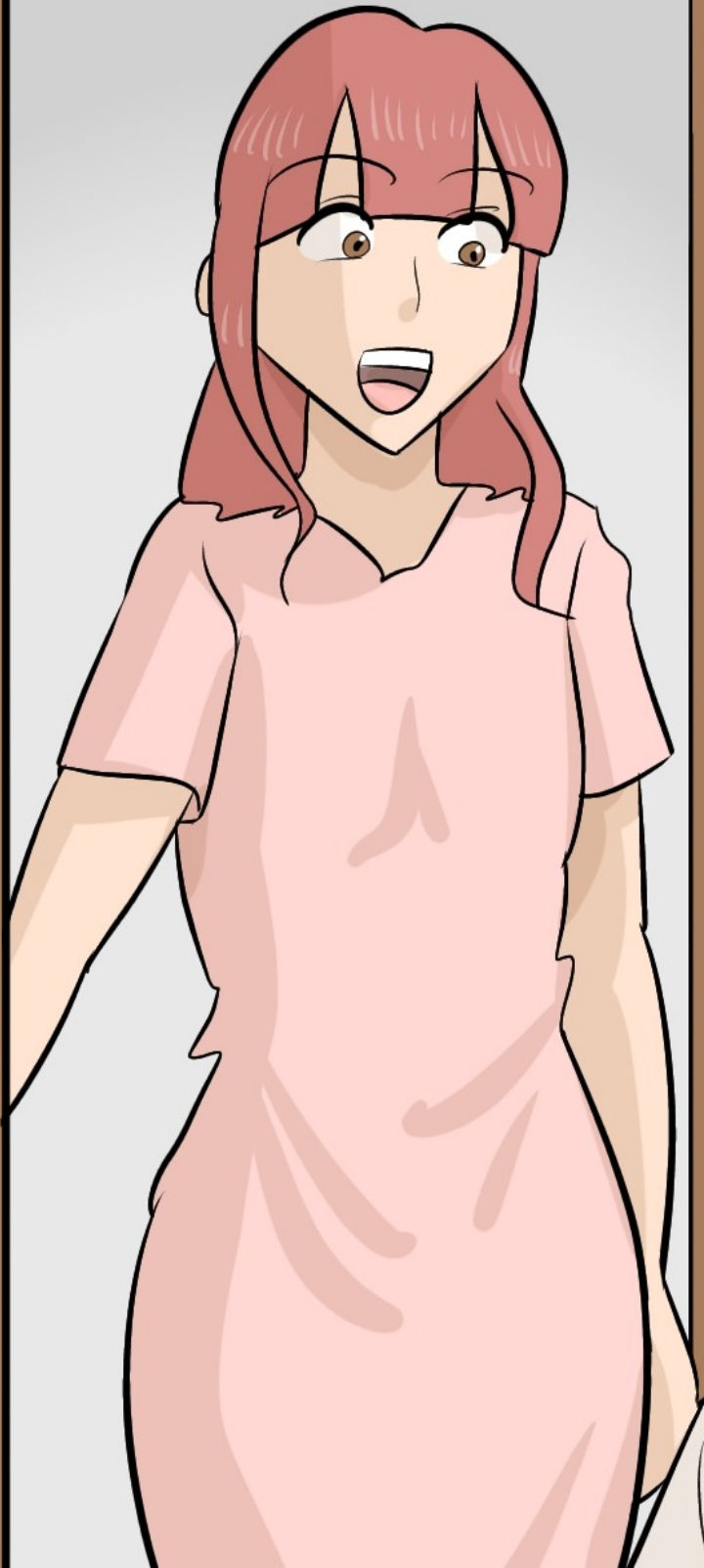
「あ、帰ってきてきてたんだ。
おかえりなさい。」

彼氏

「う、うん。ただいま。」

どうしよう。

あんなことしちゃったよ…。
黙っておくべきか、
正直に言って、謝るべきか。



彼女

「ねえ、これ。じゃーん。
似合うと思って、編んでみたんだ。
マフラー、首に巻いてみて。」

彼氏

「え？あ、うん。
ありがとう。」



彼氏

「えっ。」

彼女

「マフラー似合ってるよ。
いつも、ありがとうね。
いつまでも、
一緒にいようね。」



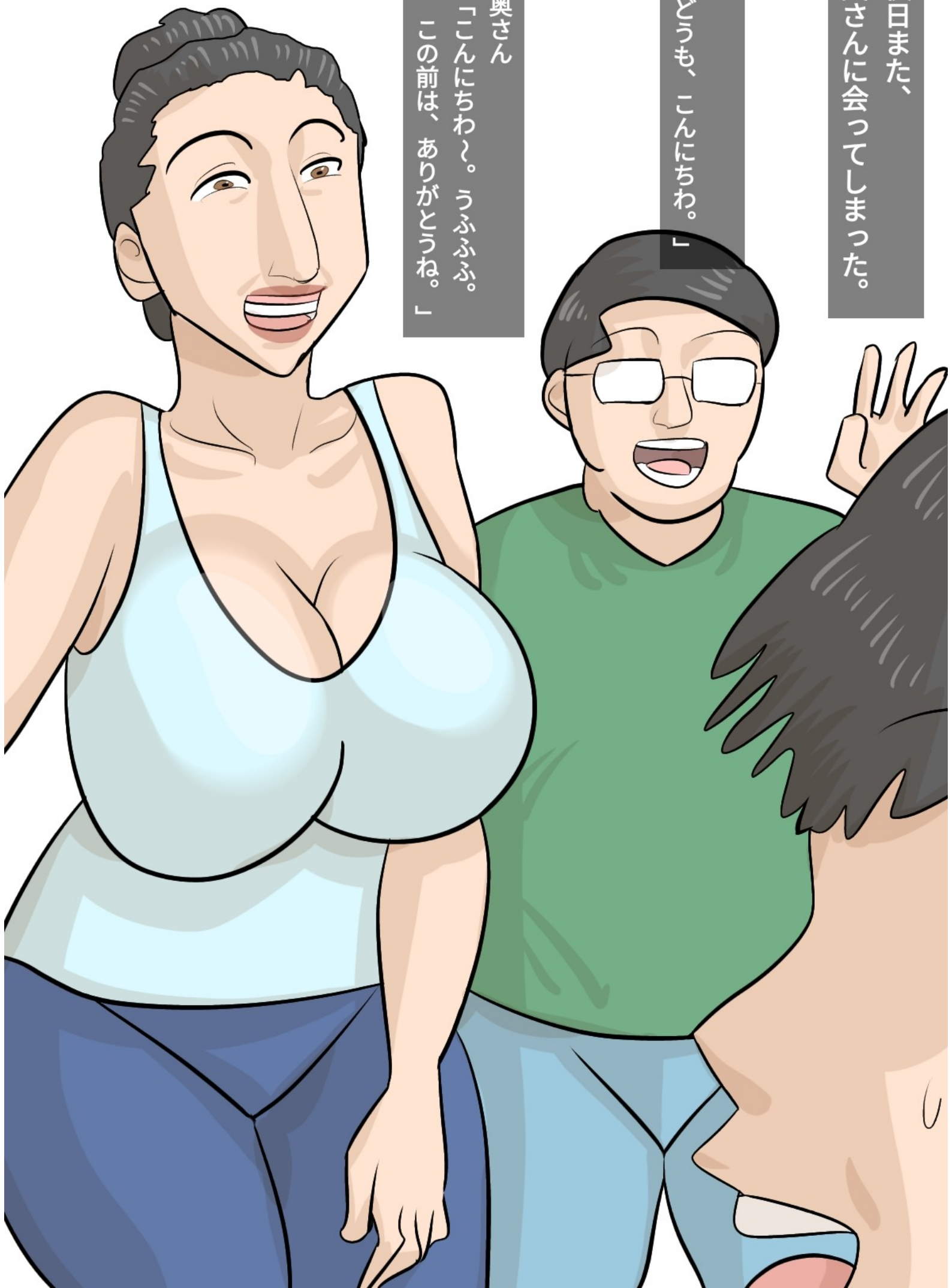
.....。

絶対に言えない...。
浮気しちゃったなんて。

後日また、
奥さんに会ってしまった。

夫
「どうも、こんにちはわ。」

奥さん
「こんにちはわ。うふふふ。
この前は、ありがとうね。」



夫

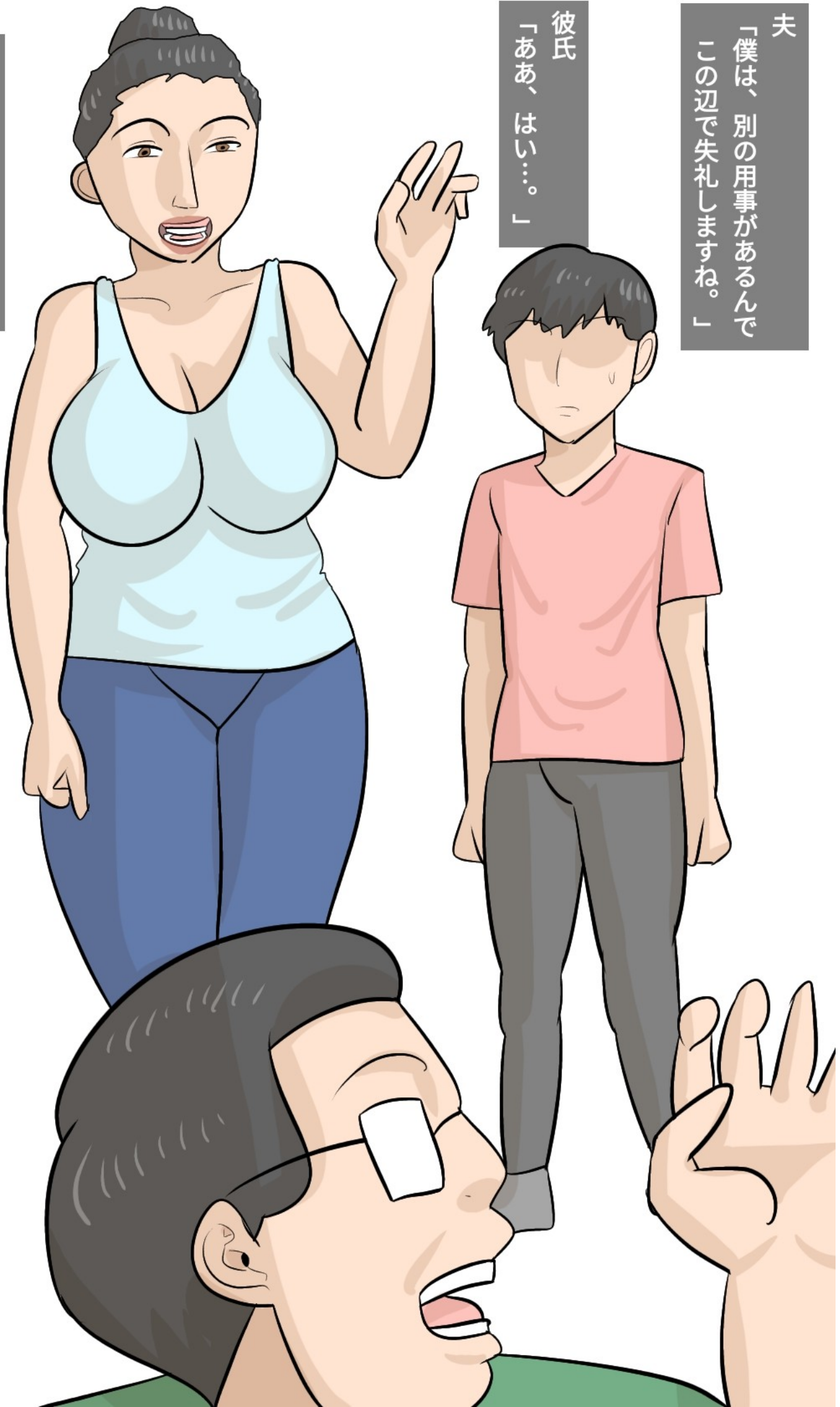
「僕は、別の用事があるんで
この辺で失礼しますね。」

彼氏

「ああ、はい…。」

奥さん

「うん、わかったわ。
先に家に帰るわね。」



彼氏

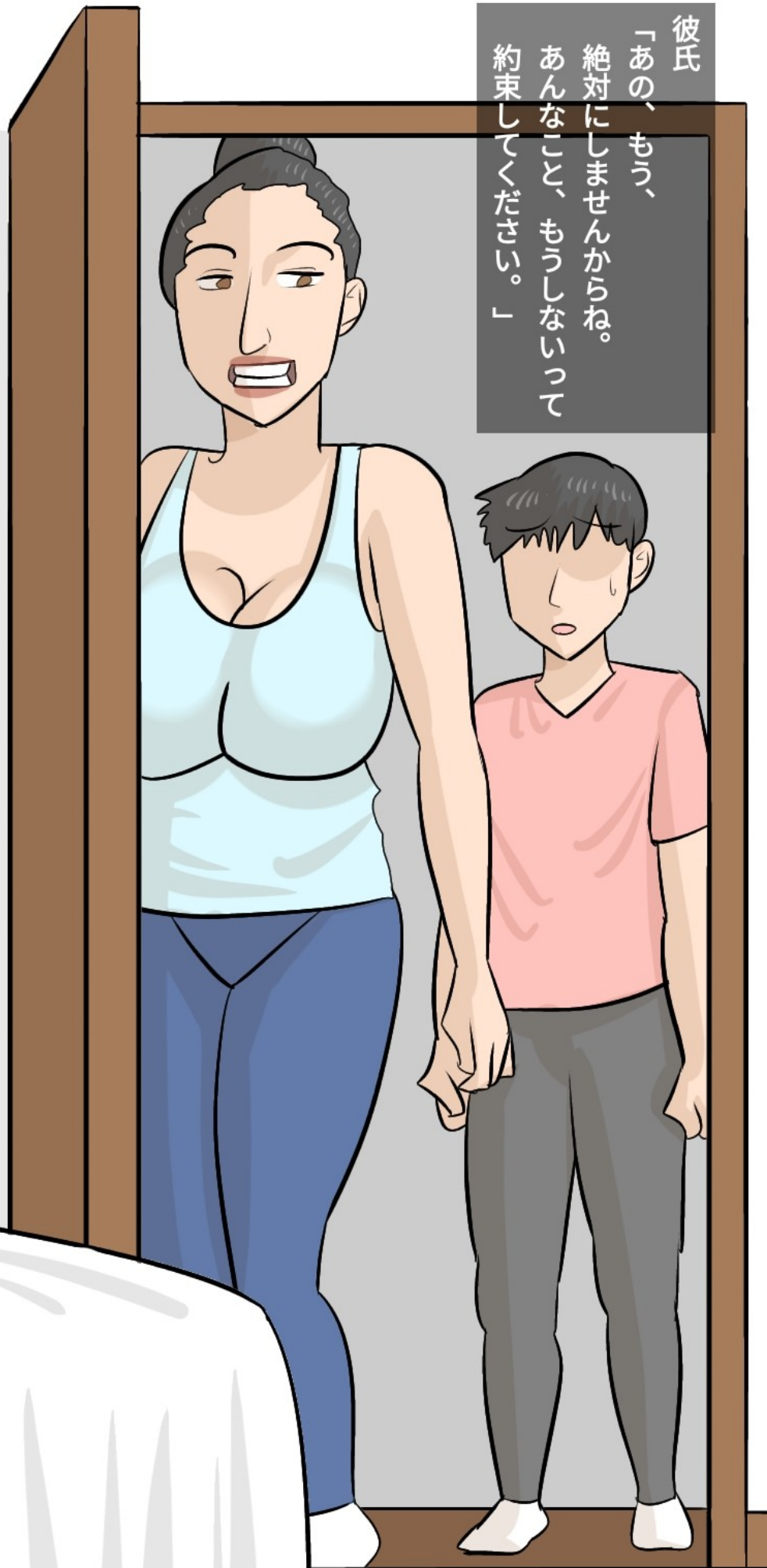
「あの、もう、絶対にしませんからね。あんなこと、もうしないって約束してください。」

奥さん

「え？そうなの？
ついてきてるから、
またやりたいのかと思ったわよ。
本当はエッチしたいんでしょ？
うふふふ。」

彼氏

「ちっ、違いますからっ。
ただ、もう誰にもあのことを
話さないように
約束してもらおうと思って…。」

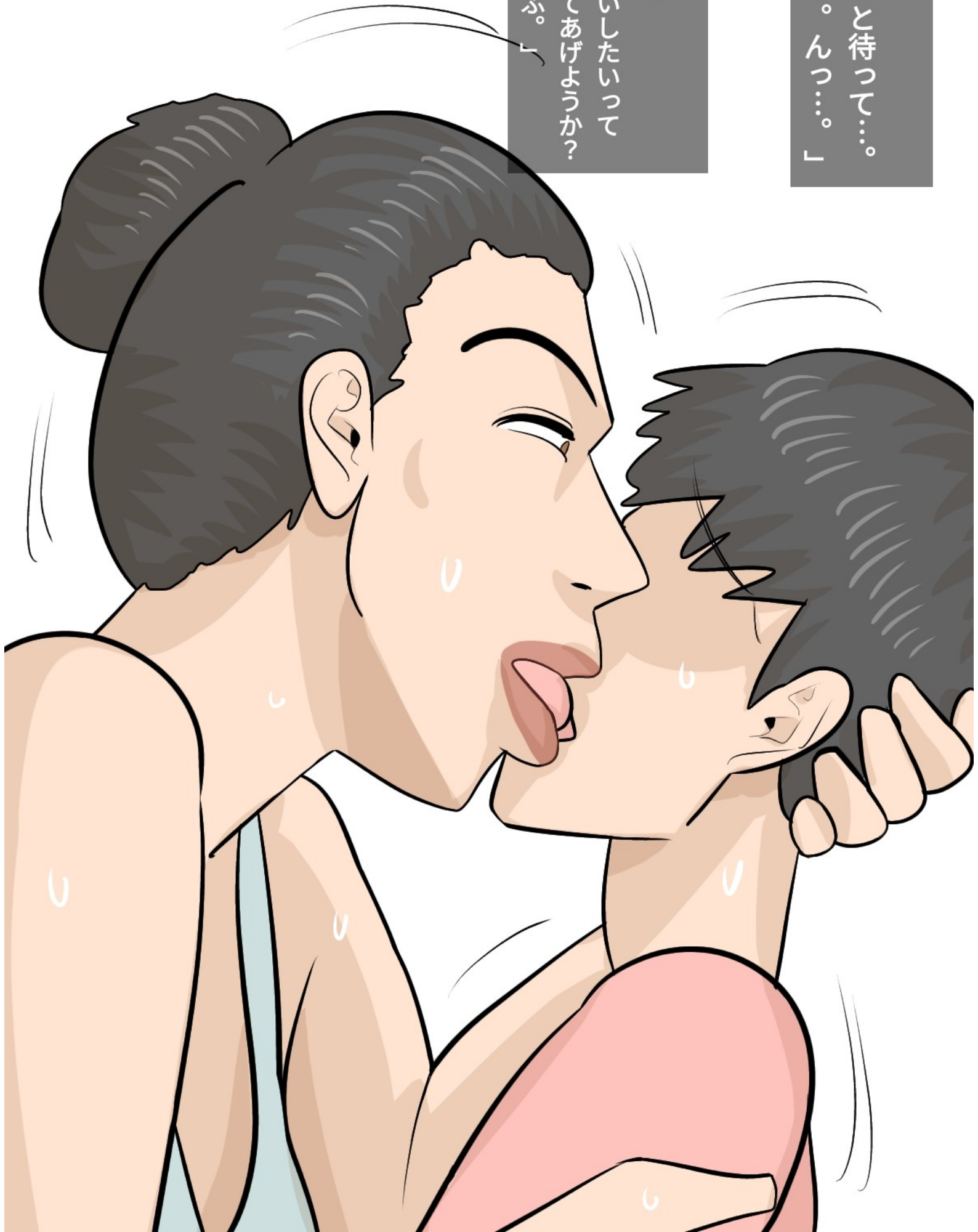


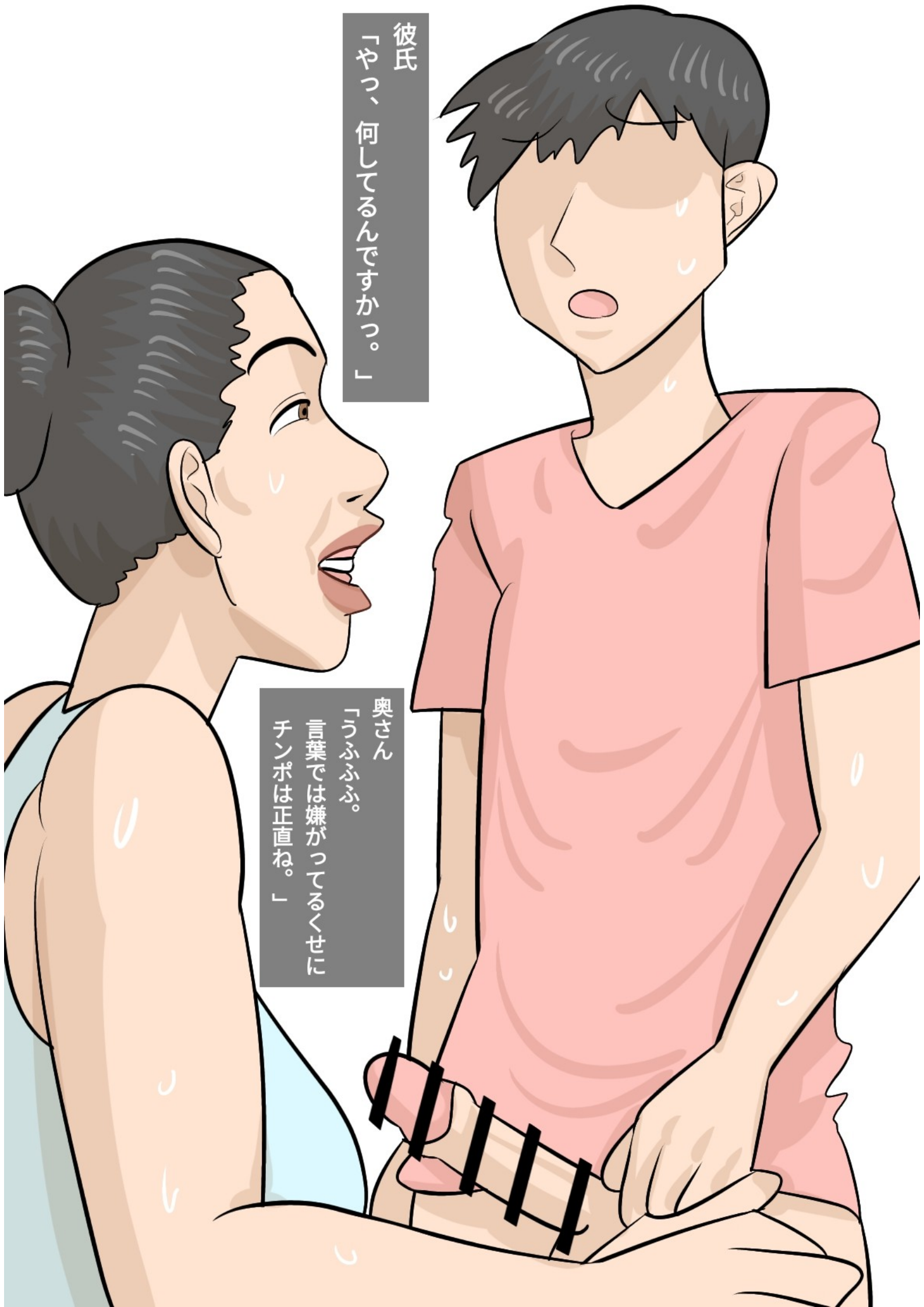
彼氏

「ちよつと待って…。
だめっ。んっ…。」

奥さん

「じゃあ、
もっかいしたいって
思わせてあげようか？
うふふふ。」





彼氏
「やっ、何してるんですかっ。」

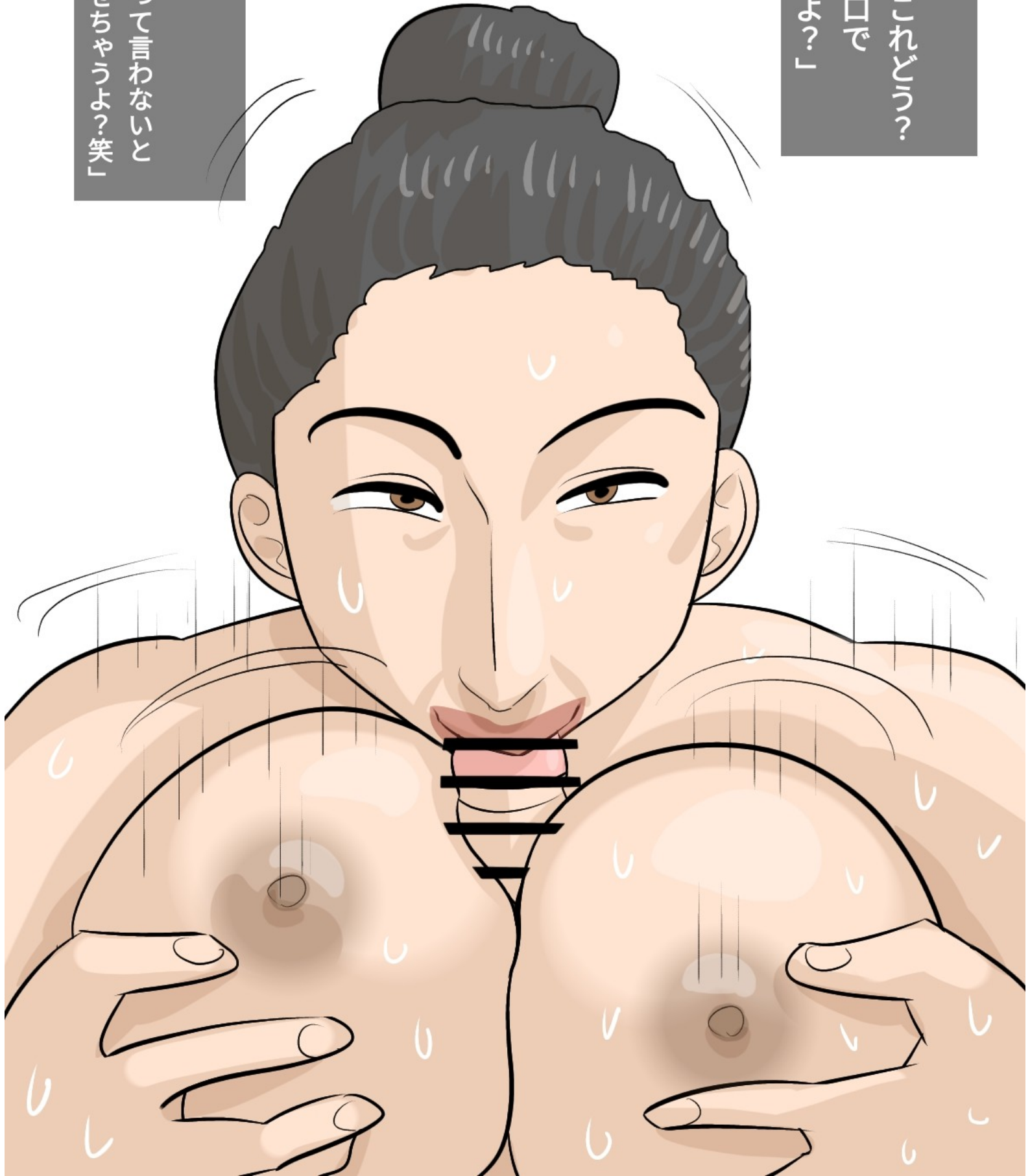
奥さん
「うふふふ。
言葉では嫌がってるくせに
チンポは正直ね。」

奥さん

「ほらほら、「これどいつ？」
おっぱいと口で
同時攻めだよ？」

奥さん

「もう一回私と
エッチしたいって言わないと
このまま出させちゃうよ？笑」



彼氏

「いや、もうダメですって。
あつ、やつ。そんなに
吸い付かないでくださいっ…。」

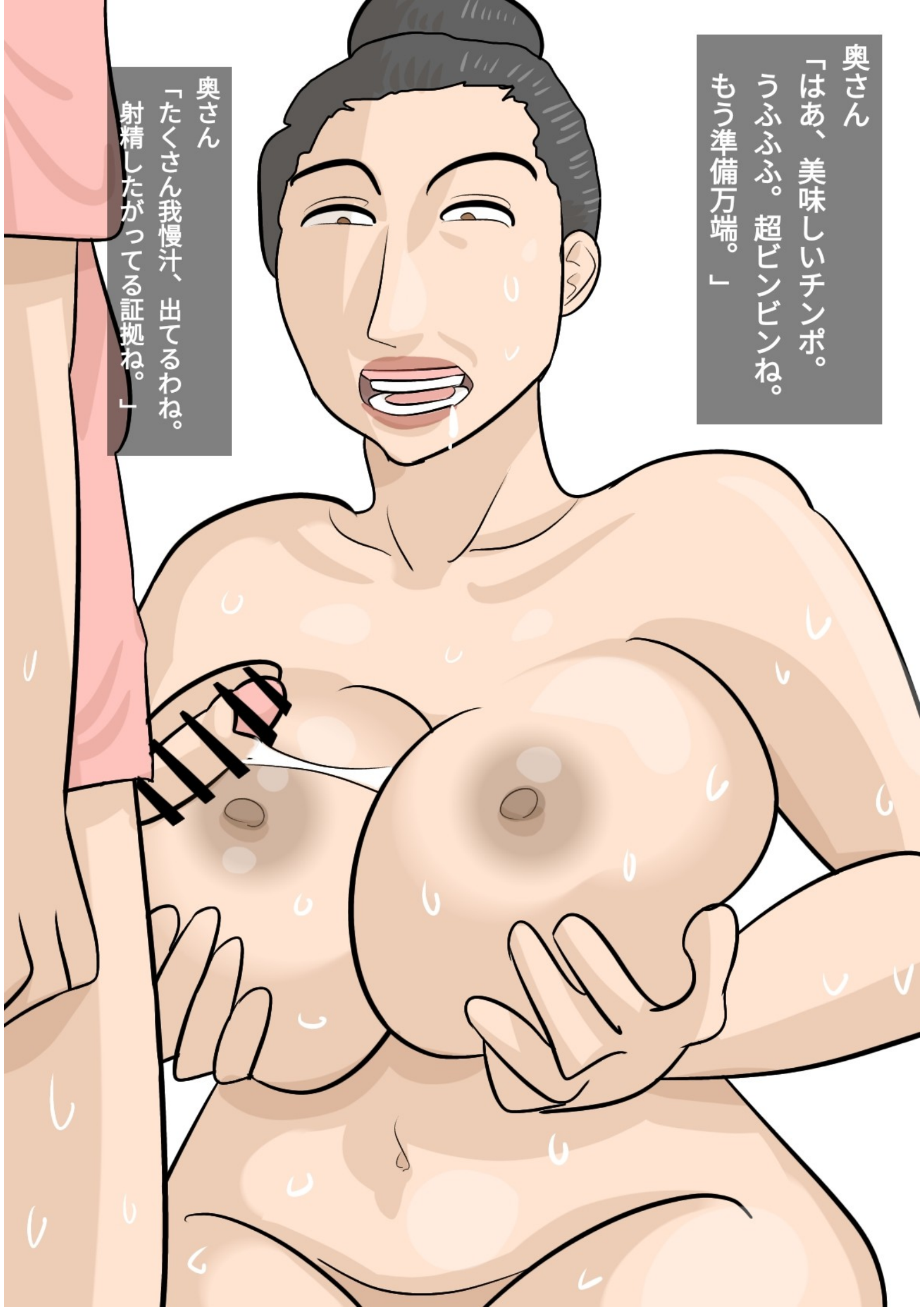


奥さん

「はあ、美味しいチンポ。
うふふふ。超ビンビンね。
もう準備万端。」

奥さん

「たくさん我慢汁、出てるわね。
射精したがつってる証拠ね。」



彼氏
「もう、満足したでしょ？
もういいじゃないですか。」

奥さん
「つふつふ。えへ、いいじゃん。
もう、「回エッチしてるんだから
一回目しても変わらないでしょ？」



奥さん
「ねえっ...どうして...」





奥さん

「ほーら、行くわよ〜?」

彼氏

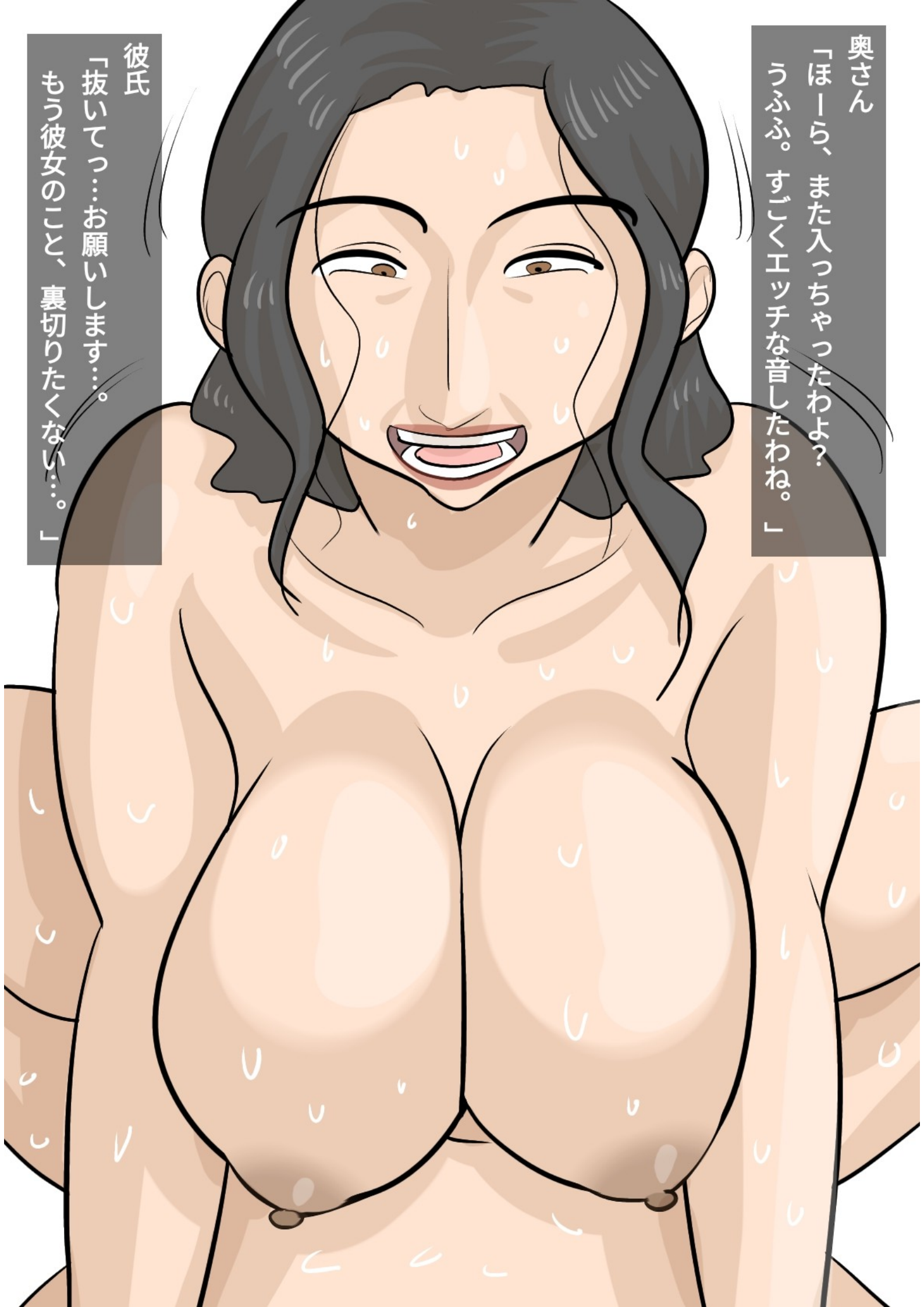
「やっ、やめてっ。離してっ。」

奥さん

「ほーら、また入っちゃったわよ？
うふふ。すごくエッチな音したわね。」

彼氏

「抜いてっ…お願いします…。
もう彼女のこと、裏切りたくない…。」



奥さん
「大丈夫よ。私、口堅いから。
うちの旦那にもバレてないし。
ほら、私が動くから
気持ちよくなって？」

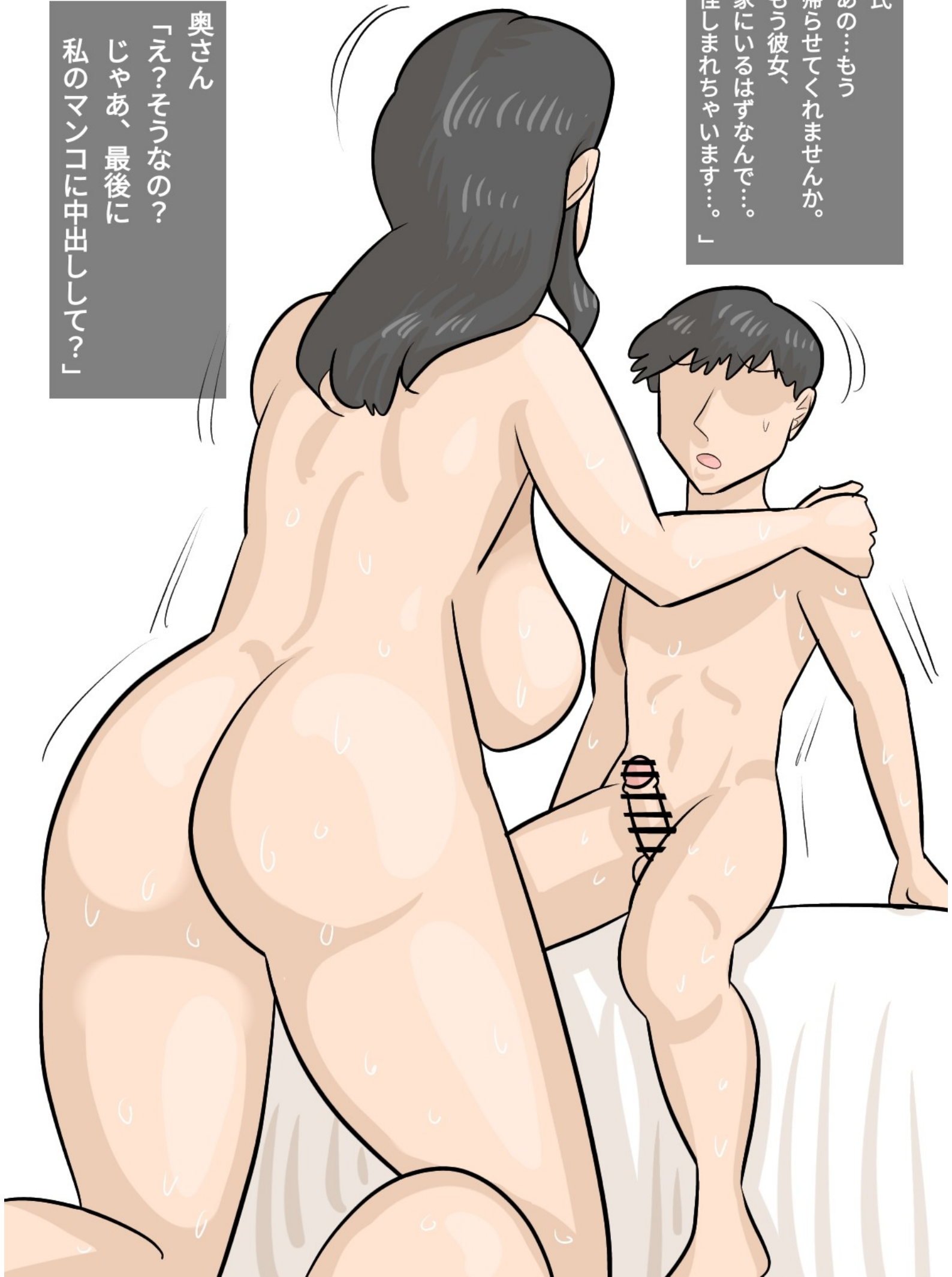


彼氏

「あの…もう
帰らせてくれませんか。
もう彼女、
家にいるはずなんで…。
怪しまれちゃいます…。」

奥さん

「え？そうなの？
じゃあ、最後に
私のマン「に中」してっ…。」



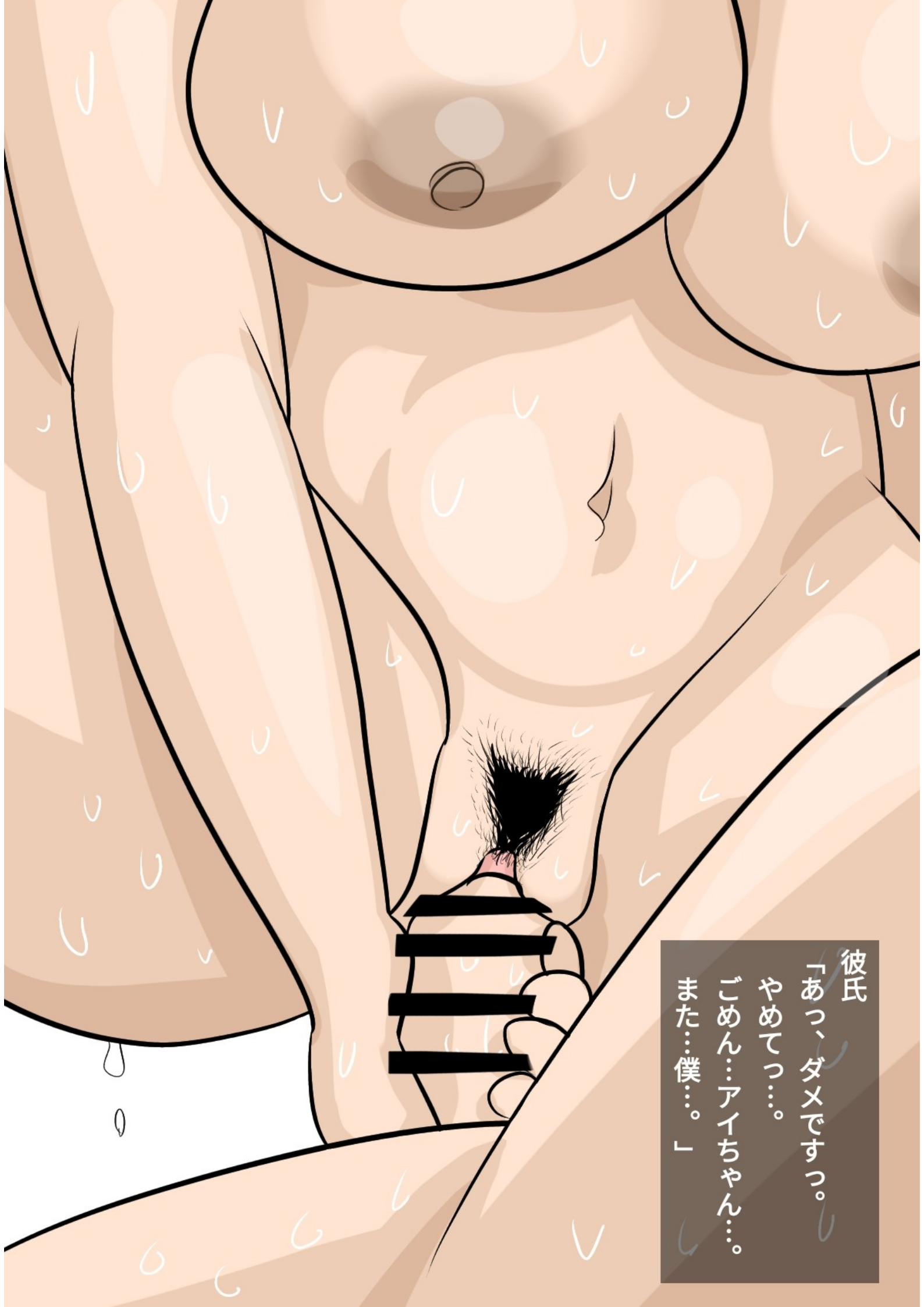
彼氏

「いや、ダメですって。
この前も中に出しちゃったのに
また出したら、
本当に妊娠しちゃいますって。」

奥さん

「えへ、そうかな。
まあ、でも若い男の子の赤ちゃん、
頑張って妊娠しちゃおっかな。
うふふふ。」





彼氏

「あっ、ダメですっ。」

やめてっ……。

「ごめん……アイちゃん……。」

また…僕……。」

奥さん

「あんっ、あんっ。気持ちいいッ。
アナタのチンポ、デカいから
私のマンコ、グリグリ
中で擦れてる…。」

奥さん

「出して??出して??
たくさん、出していいからね?
私、旦那とセックスレスなんだから
私のマンコ、使って?」



彼氏

「はあ、はあ。

ダメっ…アイちゃん…

ごめん…もう我慢できないっ。

出るっ…出ちゃうっ…。」

彼氏

「あっ。」



奥さん

「あら、やだ。」

たくさん溢れ出ちゃってるじゃない。

彼女よりも、たくさん出てるでしょ？」

奥さん

「妊娠しちゃったら、

私達、付き合っちゃおうか。うふふ。

これからも、たくさんエッチしようね？」



オマケ、色黒な奥さん

同人誌、ご購入ありがとうございます。
ピクシブ、ツイッターで
イラスト投稿、割引情報を発信してます。
チェックお願いします。

